

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- シーリング材は現場で手配してください。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書 (E248) G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。


ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

取付説明書区分表

施工区分	使用する取付説明書	取説コード
柱、フレーム	・ Gフレーム	E248
躯体取付けフレーム		
デザイン格子		
デザイン格子埋込み施工補助部材		
パーゴラ		
デザインフレーム	・ Gフレーム デザインフレーム	E313
横ファンクション	・ Gフレーム 横ファンクション	A528
ファンクション柱	・ Gフレーム ファンクション柱	A451
パーゴラフレーム上乗せ部材	・ Gフレーム パーゴラフレーム上乗せ部材	E292
フレームサイドカバー	・ Gフレーム フレームサイドカバー	E293
フリーウォール	・ Gスクリーン フリーウォール	C445
角格子スクリーン	・ Gスクリーン 角格子タイプ	C366
横格子スクリーン	・ Gスクリーン 横格子タイプ	C367
縦格子スクリーン	・ Gスクリーン 縦格子タイプ	C368
縦長格子スクリーン	・ Gスクリーン 縦長格子タイプ	C408
横スリットスクリーン	・ Gスクリーン 横スリットタイプ	C409
細縦格子	・ Gスクリーン 細縦格子タイプ	A492
木虫籠スクリーン	・ Gスクリーン 木虫籠タイプ	E256
板塀スクリーン	・ Gスクリーン 板塀タイプ	E255
GBウォール	・ Gスクリーン GBウォール	C385
汎用形材	・ Gスクリーン フリースクリーン枠	C383
サニブリーズフェンス	・ Gスクリーン サニブリーズ取付け用枠	C382
G吊引戸	・ G吊引戸	B073
Gルーフ テラスタイプ	・ Gルーフ テラスタイプ	E249
Gルーフ フリータイプ	・ Gルーフ フリータイプ	E258
Gルーフ テラスタイプ天井材	・ Gルーフ 天井材テラスタイプ	E259
Gルーフ フリータイプ天井材	・ Gルーフ 天井材フリータイプ	E257
Gルーフ カールーフタイプ	・ Gルーフ カールーフタイプ	E399
Gルーフ カールーフタイプ天井材	・ Gルーフ 天井材カールーフタイプ	E400
Gルーフ デザイン樋	・ Gルーフ デザイン樋	E401
キャノピー	・ Gフレーム キャノピー	E250
LEDダウンライト	・ LEDダウンライト	Z536
ゲートフレーム	・ Gフレーム ゲートフレーム	E300
コンセント柱	・ Gフレーム コンセント柱	E301
スライドルーバー	・ Gスクリーン スライドルーバー	C432
ルーバースクリーン	・ Gスクリーン ルーバータイプ	C433
ガーデンストレージ	・ ガーデンストレージ I-G2	E331

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

🔑ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

🔑ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<電気配線工事について>

⚠ 注意

- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。
- AC100V用照明用配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を別途準備してください。
- PF管は現場で別途手配してください。
- 接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。
- DC12V用照明取付けにはトランス電源ユニットと電源ケーブルを別途準備してください。AC100Vを直接接続しないでください。

INDEX

1	施工の前の重要確認事項	5
	1. 設計上・施工上の条件について	5
2	梱包明細表	12
3	基本寸法と各部名称	18
	1. 基本寸法と各部名称	18
4	基礎工事	23
	1. 基礎工事	23
5	フレームの施工	26
	1. 部材の加工	26
	2. 配管工事	27
	3. 柱補強材の取付け	28
	4. 柱フレームの取付け	30
	5. フレーム・パーゴラフレームの躯体取付け	40
	6. デザイン格子デッキ上施工の取付け	45
	7. フレームカバーの取付け	46
	8. デザイン格子埋込み施工の取付け	47
	9. デザイン格子埋込み施工補助部材の取付け	49
	10. 柱キャップの取付け	50
	11. 調整金具の取付け	50
	12. フレーム端部キャップの取付け	51
	13. 柱の水抜き加工	52
	14. フレーム、パーゴラフレームのシーリング処理	52

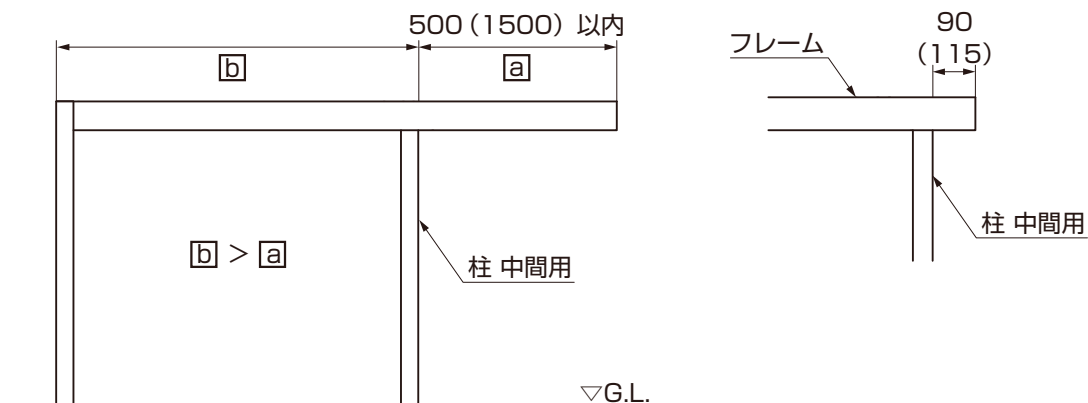
1 施工の前の重要確認事項

1. 設計上・施工上の条件について ※施工時には下記の事項を厳守してください。

ポイント

- Gルーフフリータイプ取付けの場合は必ず「Gルーフフリータイプ取付け説明書(E258)」の「1 施工の前の重要確認事項」を合わせてご確認ください。

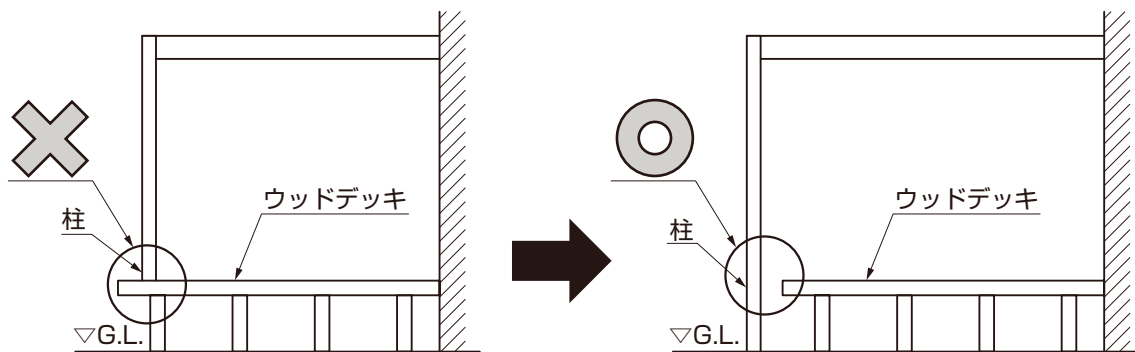
1-1 フレームを持出し施工する場合



ポイント

- フレームの持出し施工は、柱中間用からの持出し寸法を500mm以内にしてください。柱補強部品取付の場合は1500mm以内にしてください。
- Gルーフフリータイプ取付けの場合、W方向への持出し寸法は柱補強部品の有無に関わらず500mm以内にしてください。
- 柱中間用の取付けはフレーム端部から90mm以上はなしてください。丸柱 中間用取付けの場合は115mm以上はなしてください。
- フレームの1本の物を使用してください。

1-2 柱の設置



ポイント

- ウッドデッキ上に柱の施工はできません。

1. (つづき)

1 施工の前の
重要確認事項

1-3 シャッターとの接続

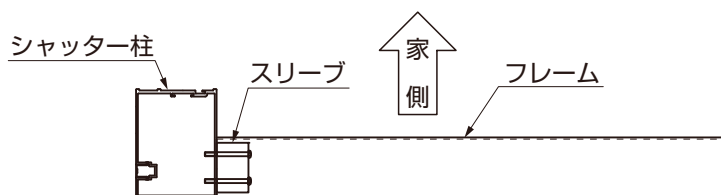
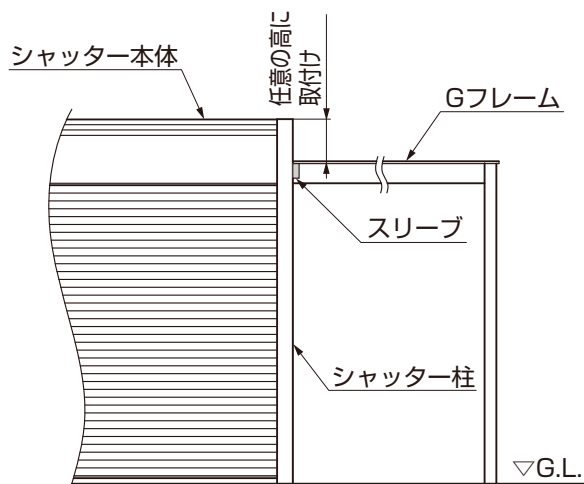


図1-1 フレームデザインカバーなしの場合接続部詳細図

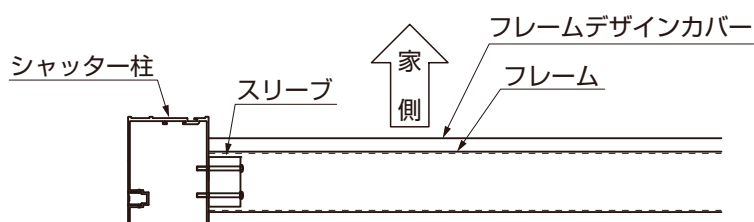

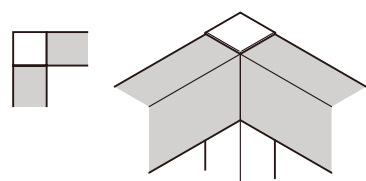
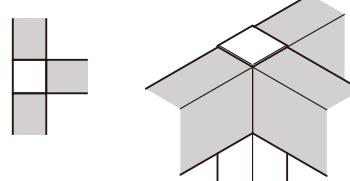
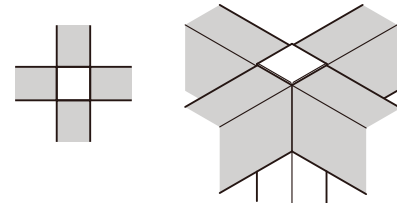
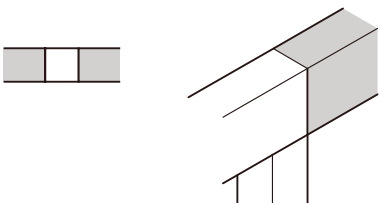
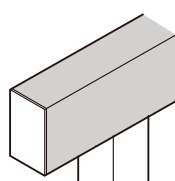


図1-2 フレームデザインカバーありの場合接続部詳細図

ポイント

- シャッターとGフレームの接続は、シャッターの柱に対して任意の高さで接続が可能です。接続にはGフレームに同梱のスリーブを使用してください。
- 出幅方向はシャッターの柱の奥行き範囲でフレームを接続してください。

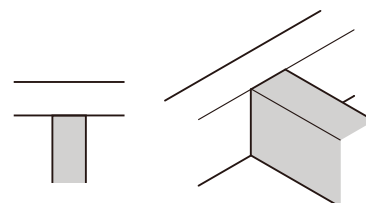
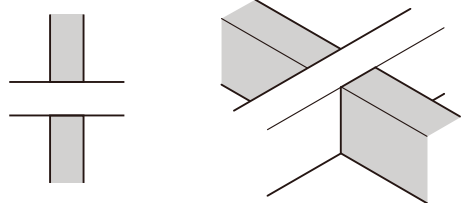
1-4 柱とフレームの接続

一方向	二方向	三方向
 <p>※柱を使用してください。 ※柱は1方向に穴加工が必要です。 ※フレーム(サブフレーム、220フレーム)を使用してください。</p>	 <p>※柱を使用してください。 柱は2方向に穴加工が必要です。 ※フレーム(サブフレーム、220フレーム)を使用してください。</p>	 <p>※柱を使用してください。 柱は3方向に穴加工が必要です。 ※フレーム(サブフレーム、220フレーム)を使用してください。</p>
四方向	フレーム連結	持出し(※1)
 <p>※柱を使用してください。 柱は4方向に穴加工が必要です。 ※フレーム(サブフレーム、220フレーム)を使用してください。</p>	 <p>※柱 中間用、丸柱 中間用、サブ柱 中間用を使用してください。 ※フレーム連結用を使用してください。</p>	 <p>※柱 中間用、丸柱 中間用、サブ柱 中間用を使用してください。 ※端部キャップを使用してください。 ※持出し幅は500(1500※2)mm以内 にしてください。</p>

ポイント

- 上記表にしたがって施工してください。
- 持出しの場合(※1)フレームへのデザインフレームカバーの取付けはできません。
- ※2は柱補強部品取付の場合の持出し幅です。
- サブ柱H23へのフレームの取付けはできません。
- ラッピング材にはシートの重なり面がありますので、意匠面を考慮して施行してください。

1-5 フレームとフレームの接続

T字	十字
 <p>※柱なしの場合も施工可能です。 ※フレーム(標準・門)を使用してください。</p>	 <p>※柱なしの場合も施工可能です。 ※フレーム(標準・門)を使用してください。</p>

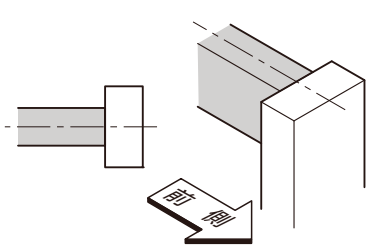
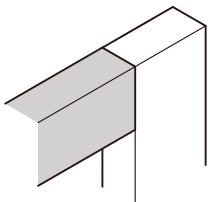
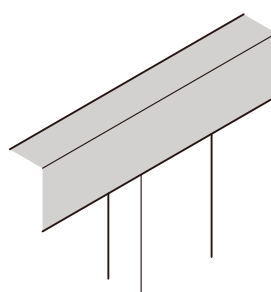
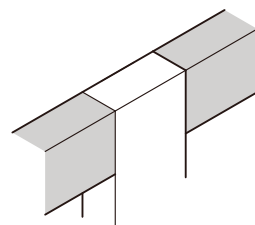
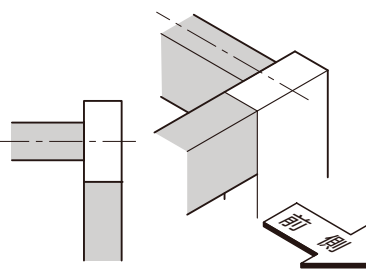
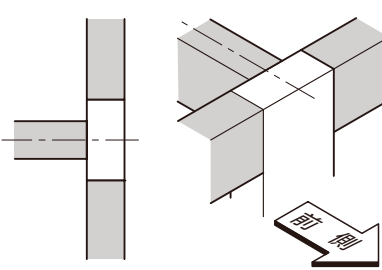
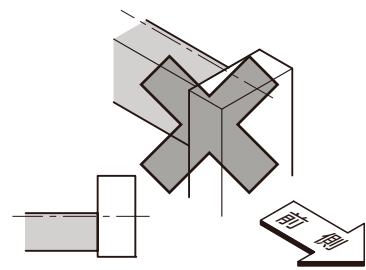
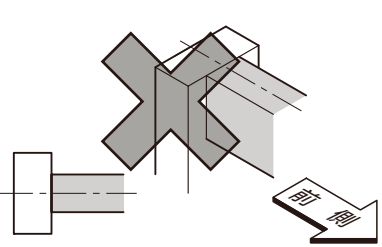
ポイント

- 上記表にしたがって施工してください。

1. (つづき)

1
施工の前の
重要確認事項

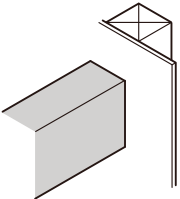
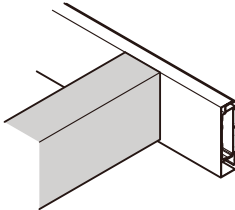
1-6 ファンクション柱とフレームの接続

一方向		
		
<p>※フレームは意匠として接続可能です。</p> <p>※フレーム（標準・門）を使用してください。</p>	<p>※フレーム（標準・門）を使用してください。</p>	
中間仕様	二方向	
	 	
	<p>※フレーム（標準・門）を使用してください。</p> <p>※フレーム（標準・門）を使用してください。</p>	
三方向	左右片寄り	柱前面取付け
		
<p>※フレーム（標準・門）を使用してください。</p>		

ポイント

- 上記表にしたがって施工してください。
- ファンクション柱へのフレームの接続にはサイズの制限があります。取付け前に必ず「Gフレーム - ファンクション柱 - 取付説明書 (A451)」の「1.施工の前の重要確認事項」を参照してください。
- ファンクション柱裏面へは意匠として中央部へ接続してください。Gループの取付けはできません。
- ファンクション柱へのフレームデザインカバーコーナー用の取付けはできません。
- ファンクション柱裏面左右片寄り取付けはできません。
- ファンクション柱前面側取付けはできません。

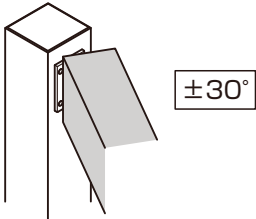
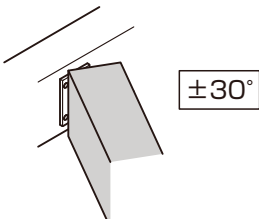
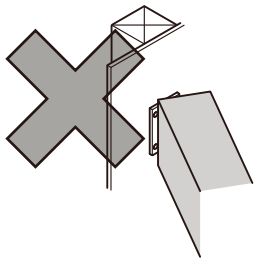
1-7 躯体とフレームの接続

直付け	躯体付けフレーム付け
 <p>※住宅側の柱および間柱へ取付けてください。 ※フレーム（標準・門）を使用してください。</p>	 <p>※躯体付けフレームを使用してください。 ※フレーム（標準・門）、サブフレームを使用してください。</p>

ポイント

- 上記表にしたがって施工してください。

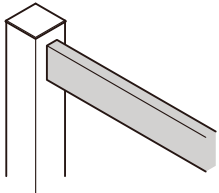
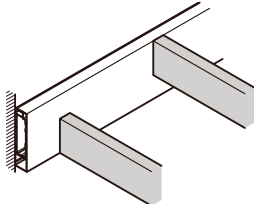
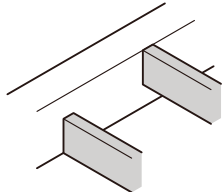
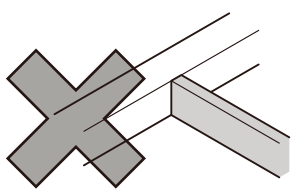
1-8 角度調整部材による施工

柱接続	フレーム接続	住宅への接続
 <p>※フレーム（標準・門）を使用してください。</p>	 <p>※フレーム（標準・門）を使用してください。</p>	

ポイント

- 角度調整部材を取付けたフレームへのデザインフレームカバーの取付けはできません。
- 住宅への角度調整部材の取付けはできません。
- サブフレーム、220フレームへの取付けはできません。

1-9 パーゴラフレームの接続

柱接続	躯体付けフレーム付け	フレーム・220フレーム接続	サブフレーム接続
 <p>※柱を使用してください。</p>	 <p>※躯体付けフレームを使用してください。</p>	 <p>※フレーム（標準・門）220フレームを使用してください。</p>	

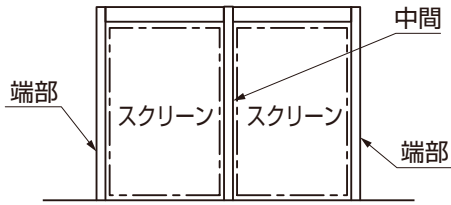
ポイント

- 上記表にしたがって施工してください。

1. (つづき)

1
施工の前の
重要確認事項

1-10 柱強度区分



ポイント

- H24、H29 サブ柱・H35 柱/中間柱は補強材付きです。
- ※1は縦枠の現場切詰めが必要です。
- はスクリーン取付け高さH：2450以下です。
- はスクリーン取付け高さH：2905以下です。

表1-1

○…標準 ●…補強材追加で可能 ×…取付け不可

		H15		H23		H24				H29				H35	
		柱・サブ柱		サブ柱		柱		サブ柱		柱		サブ柱		柱	
		端部	連結部 (中間)	端部	連結部 (中間)	端部	連結部 (中間)	端部	連結部 (中間)	端部	連結部 (中間)	端部	連結部 (中間)	端部	連結部 (中間)
縦格子	W10	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	W15	—	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
	W20-H15	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	W20	—	—	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
縦格子H29	W10	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○
	W15	—	—	—	—	—	—	—	—	○	●	○	○	○	○
	W20	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○
細縦格子	W10	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	W15	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	W20	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木虫籠・板塀	W10	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ルーバーH24・H29	W10	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
I-G2	W15	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—
	W20	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—
横格子	W15	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	W20-H15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	W20 0~6枚	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
角格子	W15 0~6枚(2段)	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	W15 6~15枚	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	W20-H15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	W20 0~4枚(1段)	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	W20 4~20枚	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フリー スクリーン 枠	W10	H16	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		H24	—	—	○	○※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	W20	H16	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		H24	—	—	○	○※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サニー ブリーズ 取付け枠	T8	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	T10	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	T12	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	T16・T18	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
門扉(調整金具O取付)		—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

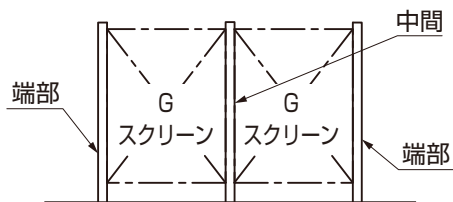


表1-2 縦長格子

		柱			サブ柱			ファンクション柱
		H24	H29	H35	H23 (※3)	H24	H29	
W15	端部	○	○	○	●	○	○	△ (※4)
	中間	●	●	○	○	○	○	×
W20	端部	○	●	○	○	○	○	×
	下段有	●	●	○	●	○	○	×
W20	端部	○	○	○	○	○	○	×
	下段無	●	●	○	●	○	○	×

○…使用可能 ●…補強材が必要 △…制限あり ×…不可

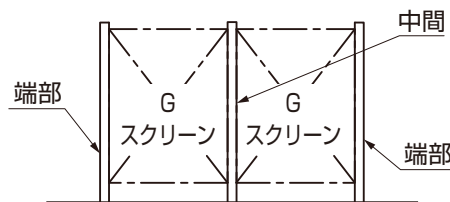


表1-3 横スリット

		柱				サブ柱				ファンクション柱
		H15	H24	H29	H35	H15	H23 (※3)	H24	H29	
W15	基本 (1枚)	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
		中間	○	○	●	○	○	○	○	×
	基本+連結 (+連結) ※5	端部	—	○	○	○	—	○	○	△ (※4)
		中間	—	○ [●]	●	○	—	○ [●]	○	×
W20	基本 (1枚)	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ [X] (※4)
		中間	○	●	●	○	○	●	○	×
	基本+連結 (+連結) ※5	端部	—	○	○	○	—	○	○	△ [X] (※4)
		中間	—	●	●	○	—	●	○	×

○…使用可能 ●…補強材が必要 △…制限あり ×…不可

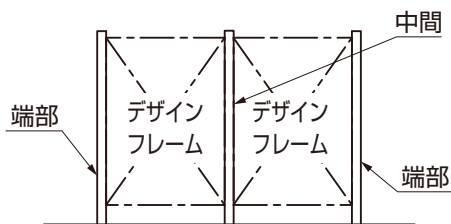


表1-4 デザインフレーム

		柱				サブ柱				ファンクション柱
		H15	H24	H29	H35	H15	H23 (※3)	H24	H29	
W10	~1000 (1500※1)	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
		中間	○	○	○	○	○	○	○	×
	~2000 (2450※2)	端部	—	○	○	○	—	○	○	△ (※4)
		中間	—	○	●	○	—	○	○	×
~2900	端部	—	—	○	○	—	—	○	×	
	中間	—	—	●	○	—	—	○	×	
W15	~500	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
		中間	○	○	○	○	○	○	○	×
	~1000 (1500※1)	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
		中間	○	○	●	○	○	○	○	×
~2000 (2450※2)	端部	—	○	○	○	—	○	○	△ (※4)	
	中間	—	●	●	○	—	●	○	×	
~2900	端部	—	—	○	○	—	—	○	×	
	中間	—	—	●	○	—	—	○	×	
W20	~500	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
		中間	○	○	○	○	○	○	○	×
	~1000 (1500※1)	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
		中間	○	●	●	○	○	●	○	×
~2000 (2450※2)	端部	—	○	○	○	—	○	○	△ (※4)	
	中間	—	●	●	○	—	●	○	×	
~2900	端部	—	—	○	○	—	—	○	△ (※4)	
	中間	—	—	●	○	—	—	×	×	

○…使用可能 ●…補強材が必要 △…制限あり ×…不可

表1-5 デザインフレーム取付範囲本数目安


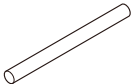
	目安枚数		
	水平	45°	垂直
~1500	15	5	5
~1000	30	11	11
~2000	60	23	22
~2900	87	33	32

ポイント



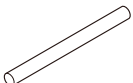


- 上記 表1-2、表1-3、表1-4にしたがって柱・サブ柱・ファンクション柱の施工を行なってください。
- [] はスクリーン取付け高さH：2905以下です。
- []内は横スリットBの場合を示します。
- 柱・サブ柱の取付けは「Gフレーム取付け説明書 (E248)」を参照してください。
- ※1 H15使用の場合
- ※2 H24使用の場合
- ※3のサブ柱H23へのフレーム付け施工はできません。
- ※4は「Gフレーム-ファンクション柱-取付説明書 (A451)」の「1.施工前の重要確認事項」を参照してください。
- ※5 横スリットA・B複合施工の場合は横スリットBを参考にしてください。
- H35 柱へのGスクリーンの取付けの場合、高さH2905以上への取付けはできません。
- H24、H29 サブ柱中間用及びH35 柱の中間柱は補強材付きです。

2 梱包明細表


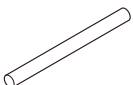
【1】柱セット

名 称	略 図	員 数
柱		1
アンカー棒		1

【2】柱 中間用セット

名 称	略 図	員 数
柱 中間用		1
中間柱取付金具		1
アンカー棒		1
【2-1】φ5×16ナベドリルネジ		4
【2-2】φ5×30ナベタッピン ネジ2種 D=9 G=5		4

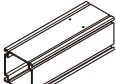

【3】ロング柱(補強材入)セット

名 称	略 図	員 数
ロング柱_H35補強材付		1
アンカー棒		1


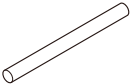
【4】ロング柱 中間用(補強材入)セット

名 称	略 図	員 数
ロング柱 中間用_H35補強材付		1
中間柱取付金具		1
アンカー棒		1
【4-1】φ5×16ナベドリルネジ		4
【4-2】φ5×30ナベタッピン ネジ2種 D=9 G=5		4




【5】柱補強材セット

名 称	略 図	員 数
柱補強材_90×90		1
【5-1】φ4×13ナベドリルネジ		4



【6】サブ柱セット

名 称	略 図	員 数
サブ柱		1
アンカー棒		1

【7】サブ柱 中間用(補強材入)セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
サブ柱 中間用_補強材付		1	1
サブ柱取付金具		1	1
アンカー棒		1	1
【7-1】φ5×16ナベドリルネジ		4	4
【7-2】φ5×30ナベタッピン ネジ2種 D=9 G=5		2	2

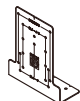
【8】丸柱 中間柱用セット

名 称	略 図	員 数
丸柱		1
丸柱用フレームカバー		8
丸柱フレームカバー加工治具		1
丸柱取付金具		1
中間柱補強金具		2
アンカー棒		1
【8-1】φ5×16ナベドリルネジ		6
【8-2】φ5×30ナベ タッピンネジ2種 D=9 G=5		4
【8-3】M5×10ナベ小ネジ		2

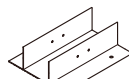


【9】サブ柱補強材セット

名 称	略 図	員 数
サブ柱補強材_45×90		1
【9-1】φ4×13ナベドリルネジ		2

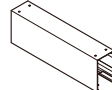




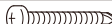

【10】フレーム施工キットA

名 称	略 図	員 数
フレーム取付穴位置治具		1
取付説明書 Gフレーム〈E248〉	—	1
取扱説明書 Gフレーム〈UE067〉	—	1

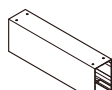




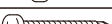
【11】ベースプレートセット

名 称	略 図	員 数
ベースプレート		1
【11-1】φ5×16ナベドリルネジ		4
【11-2】φ4×32プレスアンカー		4

【12】フレーム 標準セット

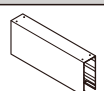

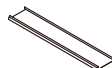
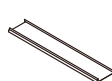
名 称	略 図	員 数							
		標準 W10	標準 W15	標準 W20	標準 W30	標準 W40	標準 W50	標準 W55	標準 W60
フレーム 標準		1	1	1	1	1	1	1	1
スリーブ		2	2	2	2	2	2	2	2
フレームカバー 標準		1	1	1	1	1	2	2	2
フレーム取付金具		2	2	2	2	2	2	2	2
【12-1】φ5×16ナベドリルネジ		12	12	12	12	12	12	12	12
【12-2】φ5×70ナベドリルネジ		10	10	10	10	10	10	10	10
【12-3】φ6×120六角コーチスクリュー		2	2	2	2	2	2	—	—

【13】フレーム 門扉モジュールセット




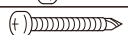
名 称	略 図	員 数	
		門扉モジュール W14	門扉モジュール W16
フレーム 門扉モジュール		1	1
スリーブ		2	2
フレームカバー 門扉モジュール		1	1
フレーム取付金具		2	2
【13-1】φ5×16ナベドリルネジ		12	12
【13-2】φ5×70ナベドリルネジ		10	10

■ 梱包明細表 (つづき)

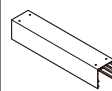
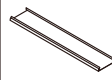

【14】 220フレームセット

名 称	略 図	員 数
220フレーム W60		1
220フレーム用スリーブ		2
フレームカバー W60 A		1
フレームカバー W60 B		1

【14】 220フレームセット (つづき)

名 称	略 図	員 数
220用柱補強裏板		2
フレーム取付金具		2
【14-1】 φ5×16ナベドリルネジ		12
【14-2】 φ5×70ナベドリルネジ		12



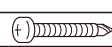

【15】 サブフレーム 標準セット

名 称	略 図	員 数			
		W10	W15	W20	W30
サブフレーム 標準		1	1	1	1
フレームカバー		1	1	1	1
サブフレーム用スリーブ		2	2	2	2



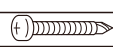

【15】 サブフレーム 標準セット (つづき)

名 称	略 図	員 数			
		W10	W15	W20	W30
フレーム取付金具		2	2	2	2
【15-1】 φ5×70ナベドリルネジ		8	8	8	8
【15-2】 φ5×16ナベドリルネジ		12	12	12	12
【15-3】 φ6×120六角コーチスクリュー		2	2	2	2

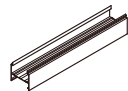



【16】 フレーム取付部材 (追加用) セット

名 称	略 図	員 数
スリーブ		1
フレーム取付金具		1
【16-1】 φ5×70ナベドリルネジ		4
【16-2】 φ5×16ナベドリルネジ		6

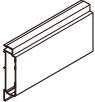
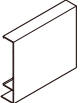



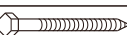
【17】 サブフレーム取付部材 (追加用) セット

名 称	略 図	員 数
サブフレーム用スリーブ		1
フレーム取付金具		1
【17-1】 φ5×70ナベドリルネジ		4
【17-2】 φ5×16ナベドリルネジ		6


【18】 フレーム 太桁部材セット

名 称	略 図	員 数
太桁部材 W55		1
太桁追加部材取付金具		4
【18-1】 φ5×16ナベタッピンネジ3種		8
【18-2】 φ5×16ナベドリルネジ		8

【19】 躯体付けフレームセット

名 称	略 図	員 数			
		W10	W20	W30	W40
躯体付フレーム		1	1	1	1
躯体付フレームカバー		1	1	1	1
躯体付フレーム端部キャップ		2	2	2	2
【19-1】 φ4×12ナベタッピンネジ3種 D=7		2	2	2	2
【19-2】 φ6×70六角コーチスクリュー		3	4	5	6
【19-3】 φ6×100六角コーチスクリュー		3	4	5	6

【20】 柱キャップセット

名 称	略 図	員 数
柱キャップ		1



【22】 220フレーム端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
220フレーム端部キャップ		1
【22-1】 φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9		4




【21】 フレーム端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
フレーム端部キャップ		1
【21-1】 φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9		4






【23】 サブフレーム端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
サブフレーム端部キャップ		1
【23-1】 φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9		4

【24】 角度調整部材セット

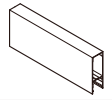



名 称	略 図	員 数
角度調整受け		1
角度調整軸		1
角度調整部品A		1

【24】 角度調整部材セット(つづき)

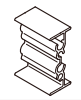





名 称	略 図	員 数
角度調整部品B		1
ネジ頭隠しシール		4
【24-1】 φ5×25サラタッピンネジ3種		4
【24-2】 φ5×25ナベドリルネジ		4
【24-3】 φ4×8ナベタッピンネジ2種		2

■ 梱包明細表 (つづき)



【25】 パーゴラフレームセット

名 称	略 図	員 数
パーゴラフレーム		1
パーゴラフレームカバー		1
パーゴラフレーム取付金具		2
【25-1】 φ4×16ナベドリルネジ		8



【26】 パーゴラフレーム躯体取付部材セット

名 称	略 図	員 数
パーゴラフレーム躯体取付スリーブ		1
【26-1】 φ6×120六角コーチスクリュー		2
【26-2】 φ4×50ナベドリルネジ		2
【26-3】 φ4×10ナベドリルネジ		2
【27】 パーゴラフレーム躯体取付部材 (追加用) セット		
名 称	略 図	員 数
パーゴラフレーム取付金具		2
【27-1】 φ4×16ナベドリルネジ		8

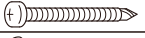
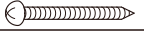
【28】 調整金具取付部材セット

名 称	略 図	員 数
調整金具施工治具		1
【28-1】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		8


【29】 デザイン格子セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
デザイン格子		1	1
デザイン格子カバー		1	1
デザイン格子取付部材上用		1	1

【29】 デザイン格子セット (つづき)

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
デザイン格子取付部材下用		1	1
アンカー		2	-
【29-1】 φ4×16ナベドリルネジ		4	4
【29-2】 φ5×70ナベドリルネジ		2	2
【29-3】 φ4×50トラスタッピンネジ1種		2	-

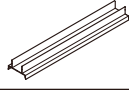




【30】 柱補強部品 標準柱用セット

名 称	略 図	員 数
柱補強裏板		1

【31】 柱補強部品 中間柱用セット

名 称	略 図	員 数
中間柱補強金具		2
【31-1】 φ5×16ナベドリルネジ		2
【31-2】 φ5×10ナベ小ネジ		2

【32】 デザイン格子 埋込み施工補助部材セット

名 称	略 図	員 数
埋込み施工補助部材		1
取付金具		2
【32-1】 φ4×13ナベドリルネジ		4
【32-2】 M4×12ナベ小ネジ		3
【32-3】 M4六角ナット		1

3 基本寸法と各部名称

1. 基本寸法と各部名称

※Gルーフ フリータイプ取付の場合の施工寸法は「Gルーフ -フリータイプ-取付説明書 (E258)」を参照してください。

1-1 標準

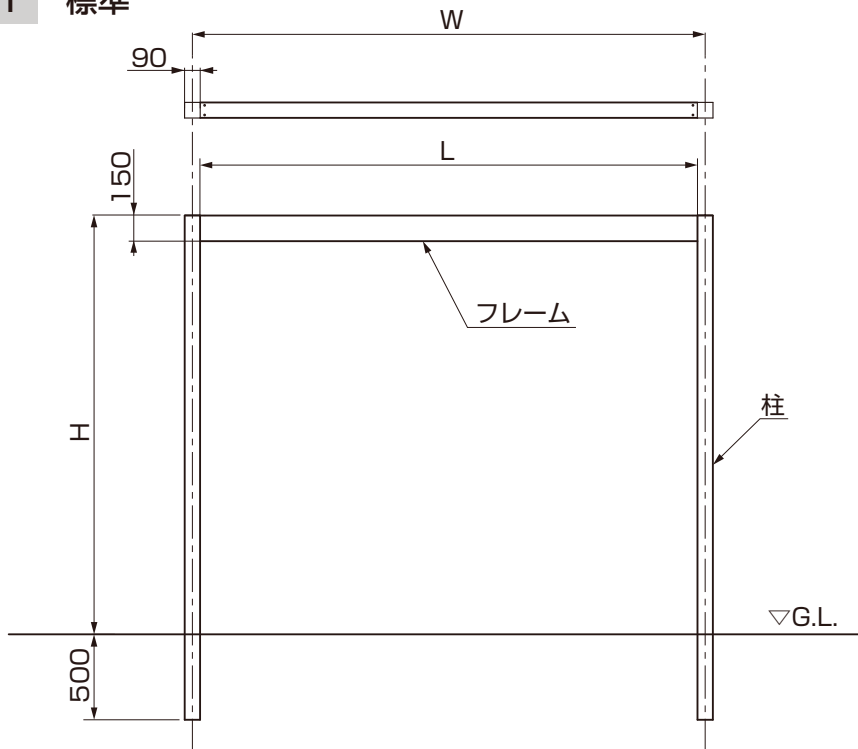


図1-1

表1-1

	H
H24	2450
H29	2905
H35	3505

表1-2

	W	L
W10	1000	910
W15	1500	1410
W20	2000	1910
W30	3000	2910
W40	4000	3910
W50	5000	4910
W55	5500	5410
W60	6000	5910

1-2 門扉モジュール

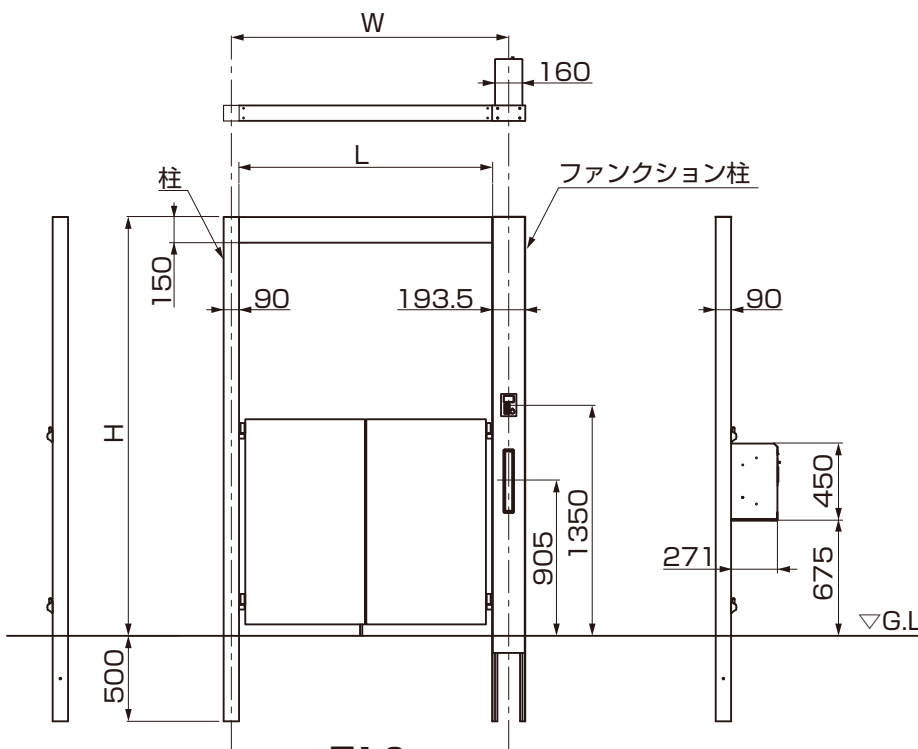


図1-2

表1-3

	H
H24	2450
H29	2905

表1-4

	W	L
W14	1622.8	1481
W16	1822.8	1681

1. (つづき)

1-3 丸柱・中間用

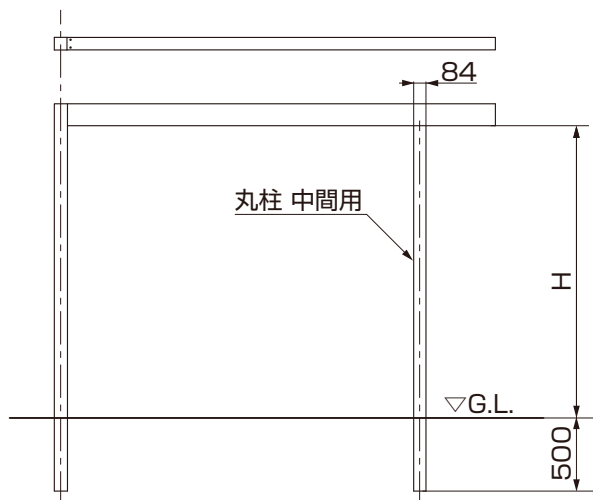


図1-3

表1-5

	H
H24	2300
H29	2755

1-4 太桁部材

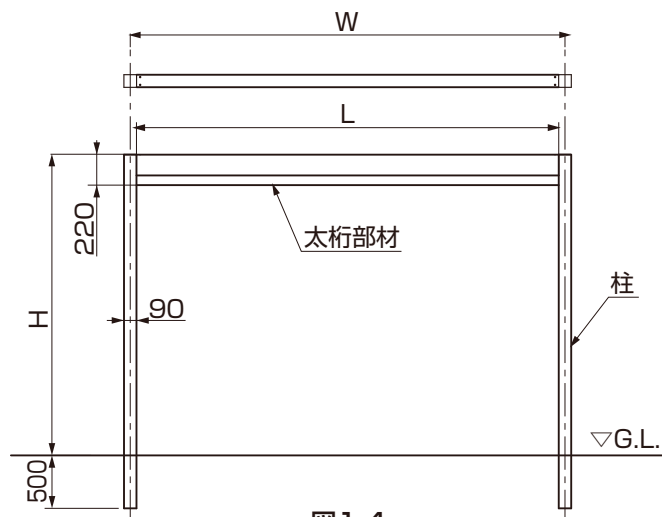


図1-4

表1-6

	H
H24	2450
H29	2905
H35	3505

表1-7

	W	L
W55	5590	5500

1-5 デザイン格子

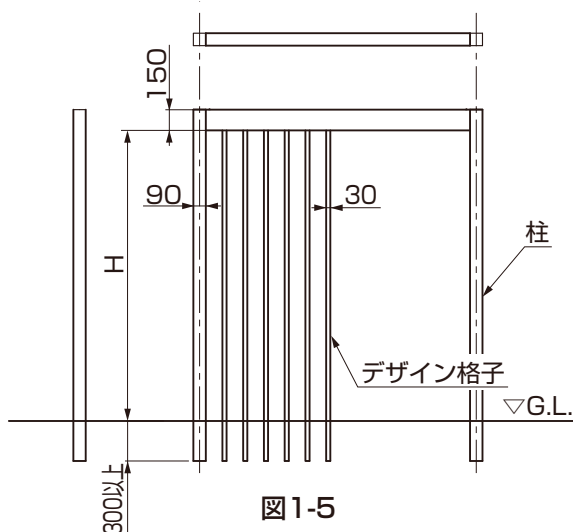


図1-5

表1-8

	H
H24	2300
H29	2755

1-6 サブフレーム

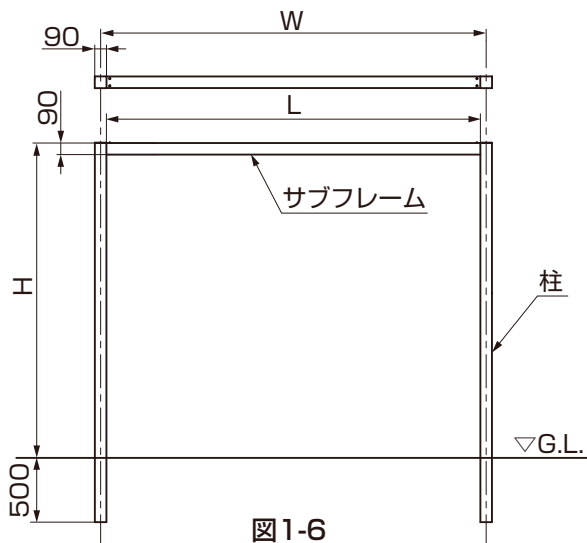


図1-6

表1-9

	H
H24	2450
H29	2905
H35	3505

表1-10

	W	L
W10	1000	910
W15	1500	1410
W20	2000	1910
W30	3000	2910

1-7 220フレーム

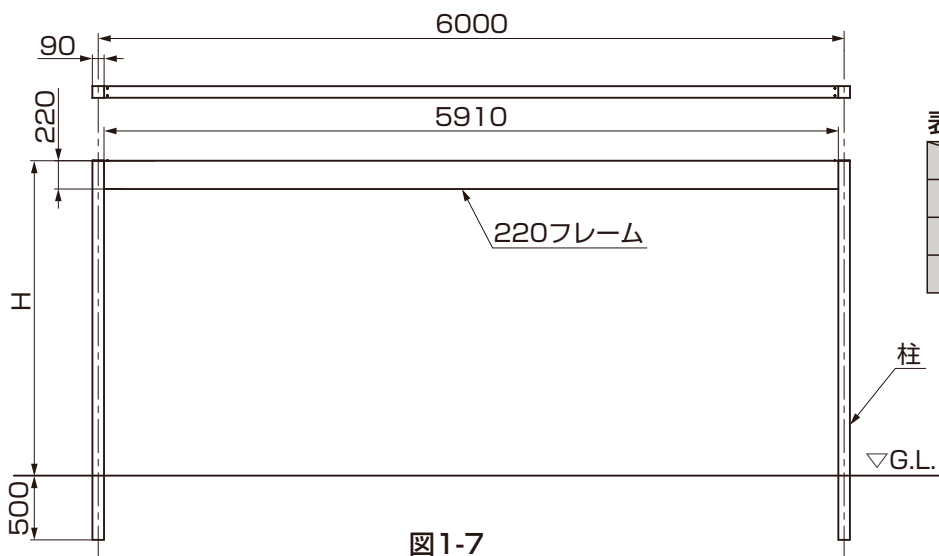


図1-7

表1-11

	H
H24	2450
H29	2905
H35	3505

1-8 サブ柱 H23、H15・柱H15

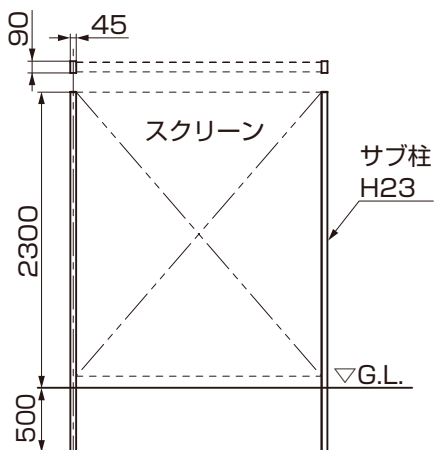


図1-8 サブ柱H23

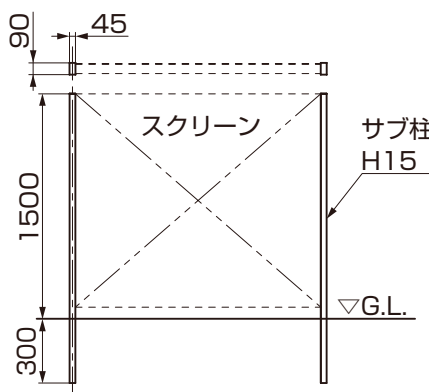


図1-9 サブ柱H15

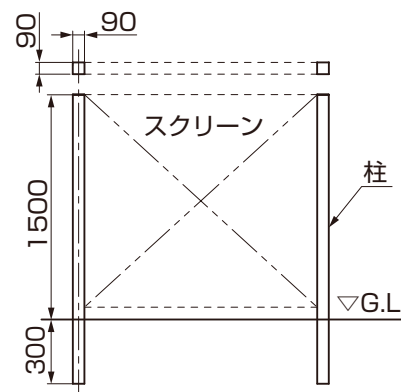


図1-10 柱H15

4 基礎工事

1. 基礎工事

1-1 柱基礎寸法

(1) 基礎寸法

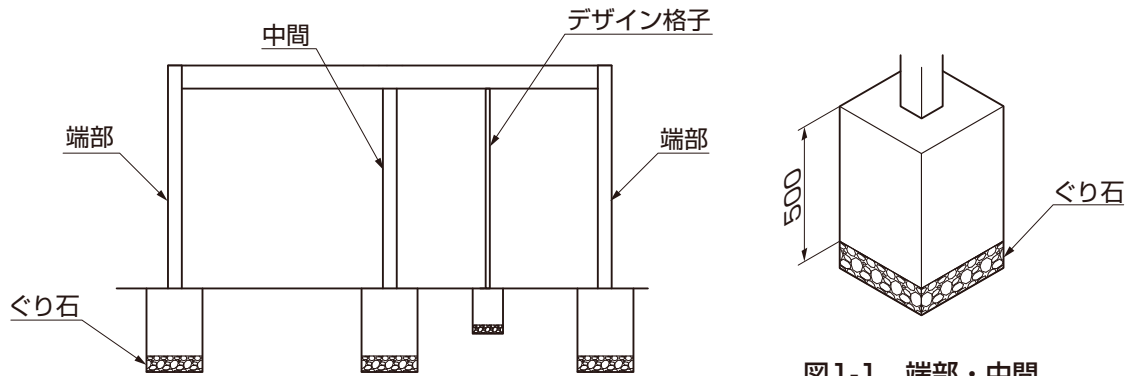


図1-1 端部・中間

(2) フレームのみ施工する場合

表1-1

		H24		H29		H35	
		中間	端部	中間	端部	中間	端部
フレーム	W40以下	□350		□400		□450	
	W40以上	□400		□450		□650	□450
サブフレーム		□300					
220フレーム		□550	□400	□600	□400	□700	□500
門扉を吊る場合		□650	□500	□700	□500	□800	□600

(3) ルーフを施工する場合 ※門扉を吊る場合はそれぞれの値に100mm加算してください。

表1-2

		4尺	6尺	8尺
テラスタイプ	1.0間	□400		
	1.5間	□400		□400
	2.0間	□400		□450
フリータイプ		□400 (全サイズ)		

(4) デザイン格子を施行する場合

表1-3

	H24	H29	基礎深さ
デザイン格子	□200		300

(5) スクリーンを施工する場合

- ※Gルーフ取付けの場合は表1-4～表1-7に+100mm加算してください。
- ※柱に調整金具Hを使用して門扉を吊る場合は表1-4～表1-7に+100mm加算してください。
- ※柱に調整金具Oを使用して門扉を吊る場合は中間サイズにしてください。

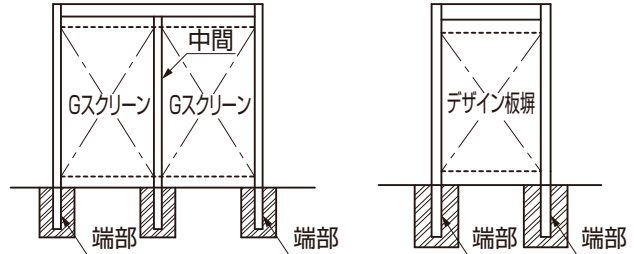


表1-4

		基礎サイズ								
		H15		H23・H24		H29		H35		
		端部	中間	端部	中間	端部	中間	端部	中間	
縦格子	W10	—	—	400	500	400	600	400	650	
	W15	—	—	400	600	500	700	500	750	
	W20-H15	400	550	450	650	500	750	550	800	
	W20	—	—	400	650	550	800	600	850	
縦格子H29	W10	—	—	—	—	400	600	400	650	
	W15	—	—	—	—	500	750	500	750	
	W20	—	—	—	—	600	850	600	850	
細縦格子	W10	—	—	400	500	400	600	400	650	
	W15	—	—	400	600	500	700	500	750	
	W20	—	—	450	700	550	800	550	850	
木虫籠・板塀	W10	—	—	400	600	450	700	500	750	
ルーバー	H24	—	—	400	600	450	700	500	750	
ルーバー	H29	—	—	—	—	450	700	500	750	
I-G2	W15	—	—	450	700	—	—	—	—	
I-G2	W20	—	—	550	800	—	—	—	—	
横格子	W15	—	—	500	700	550	850	600	850	
	W20-H15	500	650	500	750	600	900	650	900	
	W20 0～3枚	—	—	500	750	550	800	550	850	
	W20 4～6枚	—	—	600	850	650	900	650	950	
角格子	W15 0～6枚(2段)	—	—	400	600	450	700	500	750	
	W15 6～15枚	—	—	500	750	600	850	600	900	
	W20-H15	500	650	500	750	600	900	650	900	
	W20 0～4枚(1段)	—	—	400	600	450	700	500	700	
	W20 4～20枚	—	—	600	850	700	950	700	1000	
フリースクリーン枠	W10	H16	/		400	600	450	650	450	700
		H24			400	600	450	700	500	750
	W20	H16			550	800	700	900	650	950
		H24			600	850	700	1000	700	1000
サニブリーズ取付け枠	T8	400			500	400	600	400	600	
	T10	400			550	400	600	400	650	
	T12	400			550	400	650	450	700	
	T16	400			600	450	700	450	700	
	T18	400	600	450	700	500	750			

ポイント

- 躯体接続の場合は中間の基礎への荷重が軽減されるため、端部の基礎寸法へ変更することができます。
- はスクリーン取付け高さH：1600以下です。
- はスクリーン取付け高さH：2450以下です。
- はスクリーン取付け高さH：2905以下です。

1. (つづき)

表1-5

			基礎サイズ					
			H15		H24		H29	
			端部	中間	端部	中間	端部	中間
横スリット (※)	W15	基本1枚	□450	□550	□400	□600	□500	□700
		基本2枚	—	—	□450	□650	□550	□800
		基本1枚+連結1枚	—	—	□450	□650	□500	□750
		基本1枚+連結2枚	—	—	□450	□650	□550	□800
		基本1枚+連結3枚	—	—	—	—	□550	□800
	W20	基本1枚	□450	□600	□450	□700	□550	□800
		基本2枚	—	—	□550	□750	□650	□900
		基本1枚+連結1枚	—	—	□500	□750	□600	□850
		基本1枚+連結2枚	—	—	□550	□750	□650	□900
		基本1枚+連結3枚	—	—	—	—	□650	□900
縦長格子	W15	下段パネル有			□450	□700	□550	□800
		下段パネル無						
	W20	下段パネル有			□550	□800	□650	□950
		下段パネル無			□500	□750	□600	□850

※横スリットAの場合はそれぞれの値から50mm減算してください。

表1-6

			基礎サイズ					
			H15		H24		H29	
			端部	中間	端部	中間	端部	中間
デザイン フレーム	W10	~500		□400				
		~1000	□400	□400				
		~1500		□450	□400	□600	□450	□700
		~2000	—	—				
		~2450	—	—				
		~2900	—	—	—	—		
	W15	~500		□450	□400	□600	□450	□700
		~1000	□400	□550				
		~1500			□450	□700		
		~2000	—	—			□550	□800
		~2450	—	—	□500			
		~2900	—	—	—	—		
	W20	~500	□400	□500	□400	□550	□450	□650
		~1000		□600	□450	□650	□500	□750
		~1500	□450	□650				
		~2000	—	—	□550	□800		□900
		~2450	—	—			□650	
		~2900	—	—	—	—		□950

表1-7 デザインフレーム取付範囲本数目安

	目安枚数		
	水平	45°	垂直
~500	15	5	5
~1000	30	11	11
~2000	60	23	22
~2900	87	33	32

5 フレームの施工

1. 部材の加工

1-1 柱の加工 ※LEDダウンライト、LEDスクエアライトを取付ける場合の作業です。

(1) ダウンライトを取付ける場合

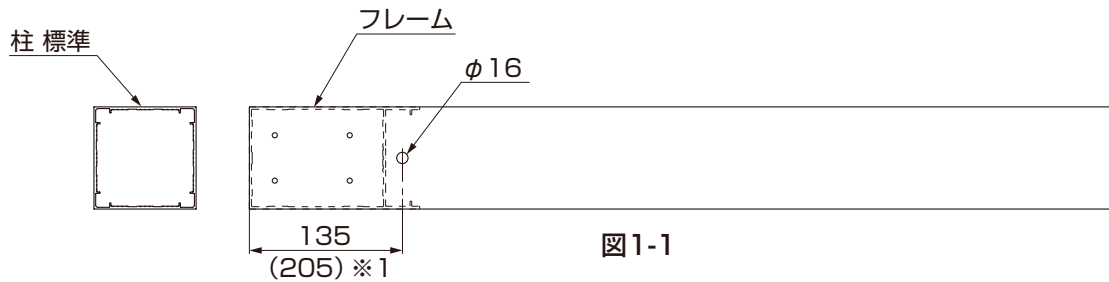


図1-1

①柱標準を図1-1を参照してφ16の穴をあけてください。

ポイント

●()内寸法(※1)は220フレーム、太桁部材取付けの場合です。

(2) 埋込み施工補助部材を取付ける場合

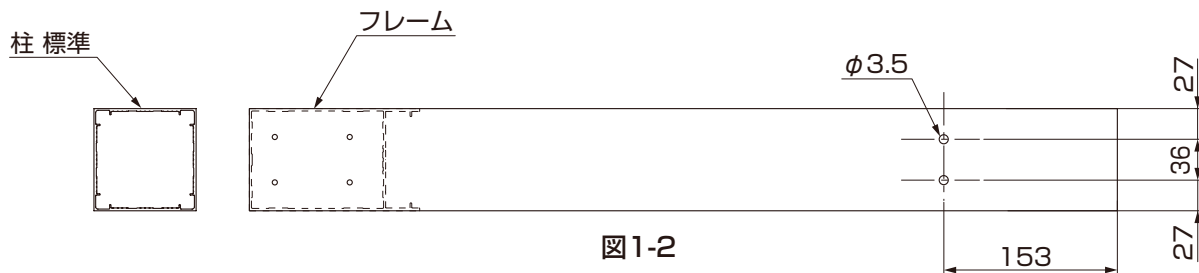


図1-2

①柱標準を図1-2を参照してφ3.5の穴をあけてください。

1-2 フレームカバーの加工 ※LEDダウンライト、LEDスクエアライトを取付ける場合の作業です。

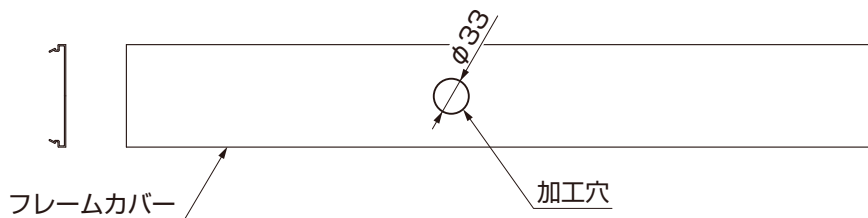


図1-3

①フレームカバーにを図1-3を参照してφ33の穴をあけてください。

ポイント

●LEDダウンライトの取付けは「LEDダウンライト取付説明書(Z536)」を参照してください。

●LEDスクエアライトの取付けはP.44を参照してください。

1. (つづき)

1-3 フレームの加工 ※フレームを切断加工した場合の作業です。

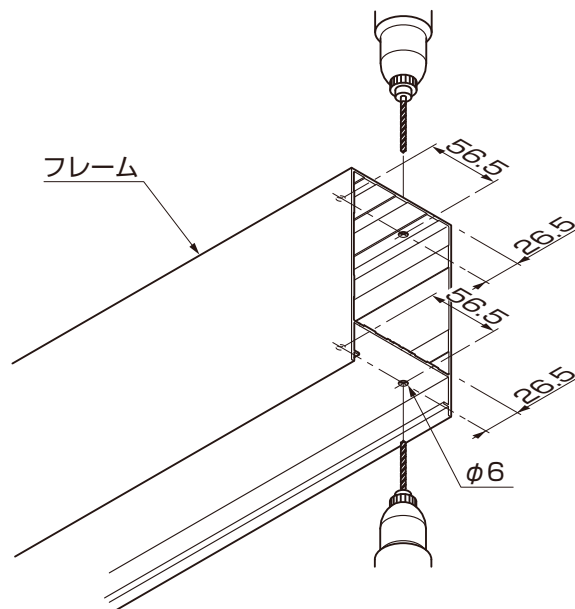


図1-4

①フレームを図1-4を参照して加工してください。

1-4 取付金具の取付け ※デザイン格子埋込み施工補助部材の取付けの場合です。

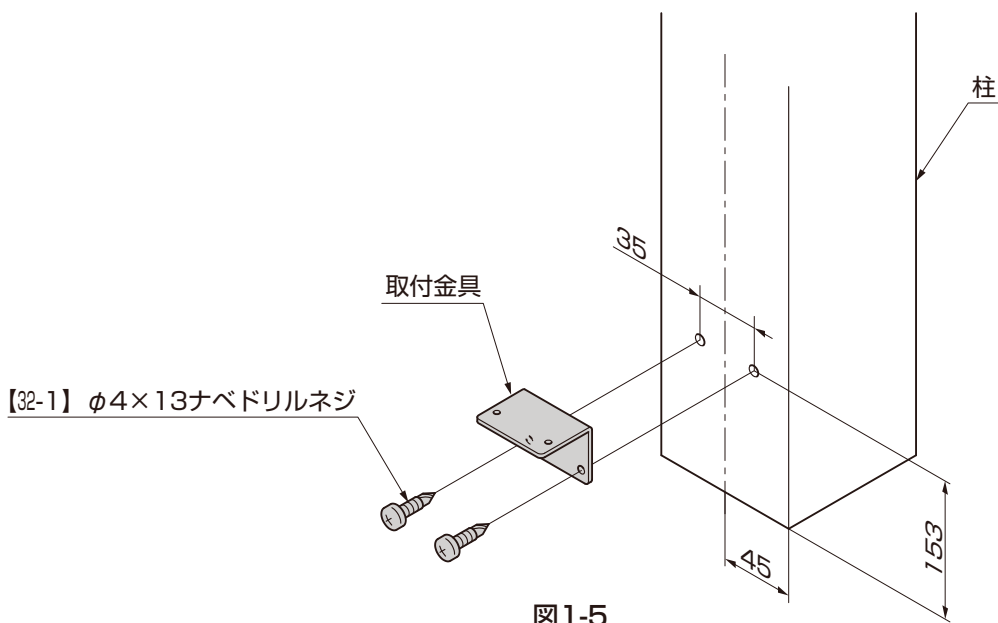


図1-5

①埋込み施工補助部材の取付金具を柱に【32-1】で取付けてください。

1-5 パーゴラフレーム・デザイン格子の加工

※パーゴラフレーム・デザイン格子を切断加工した場合の作業です。

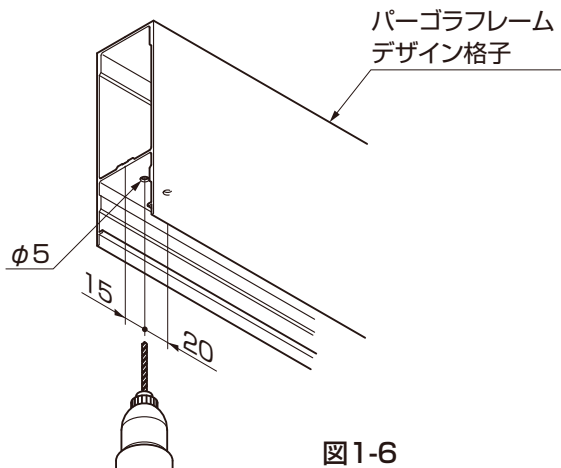
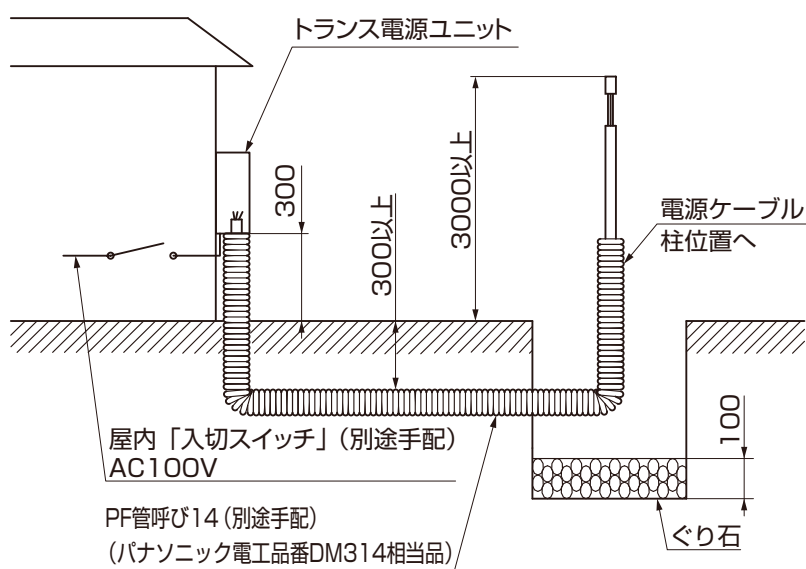


図1-6

- ①「パーゴラフレーム」または、「デザイン格子」を図1-6を参照して加工してください。

2. 配管工事

※DC12V LEDダウンライト、LEDスクエアライトを取付ける場合の作業です。



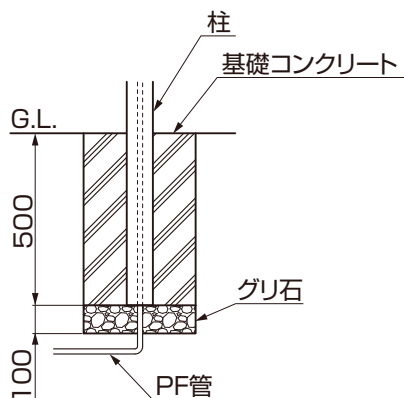
ポイント

- 天井材フリータイプへDC12V LEDダウンライト、LEDスクエアライトを取付ける場合は、「Gルーフ 天井材フリータイプ 取付説明書〈E257〉」を参照ください。

- ①照明用の配線配管をしてください。

ポイント

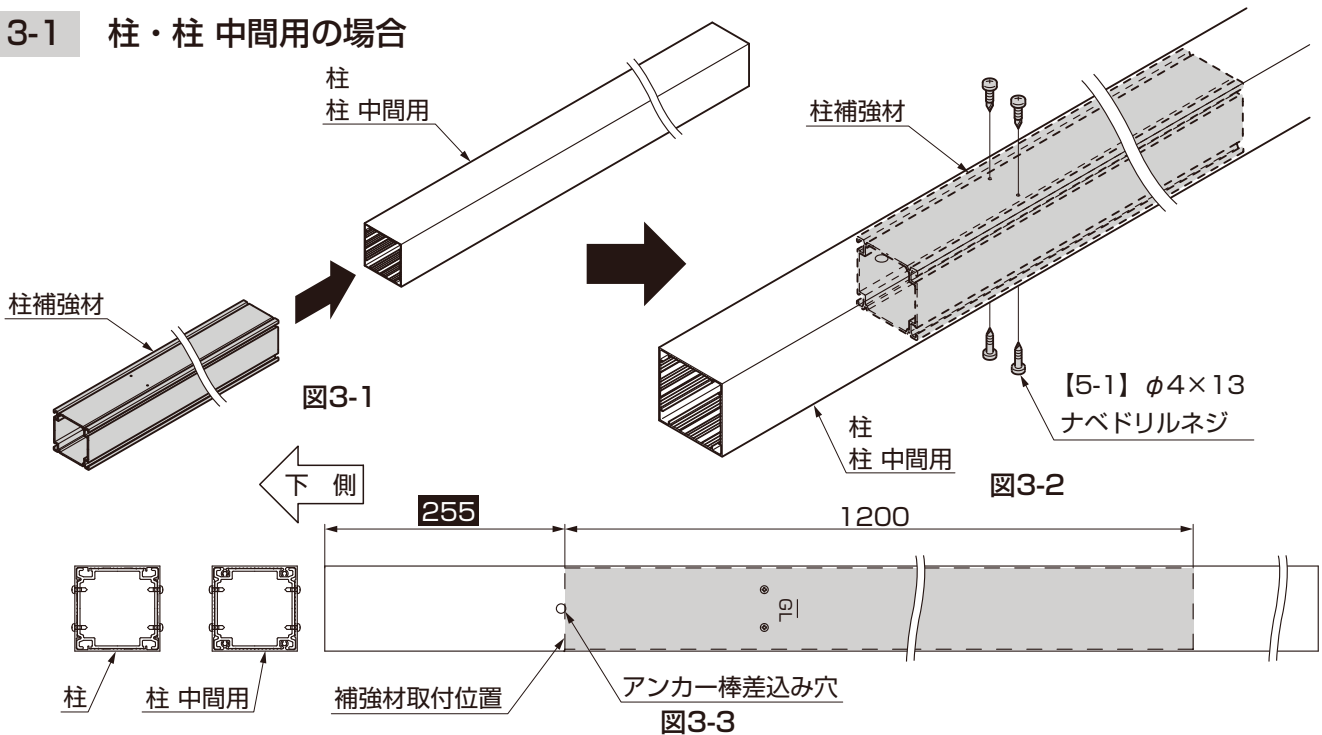
- PF管、入切スイッチ等は別途現場手配してください。



3. 柱補強材の取付け ※柱補強材が必要な場合の作業です。

(「1 施工の前の重要確認事項 1-10 柱強度区分」参照)

3-1 柱・柱 中間用の場合

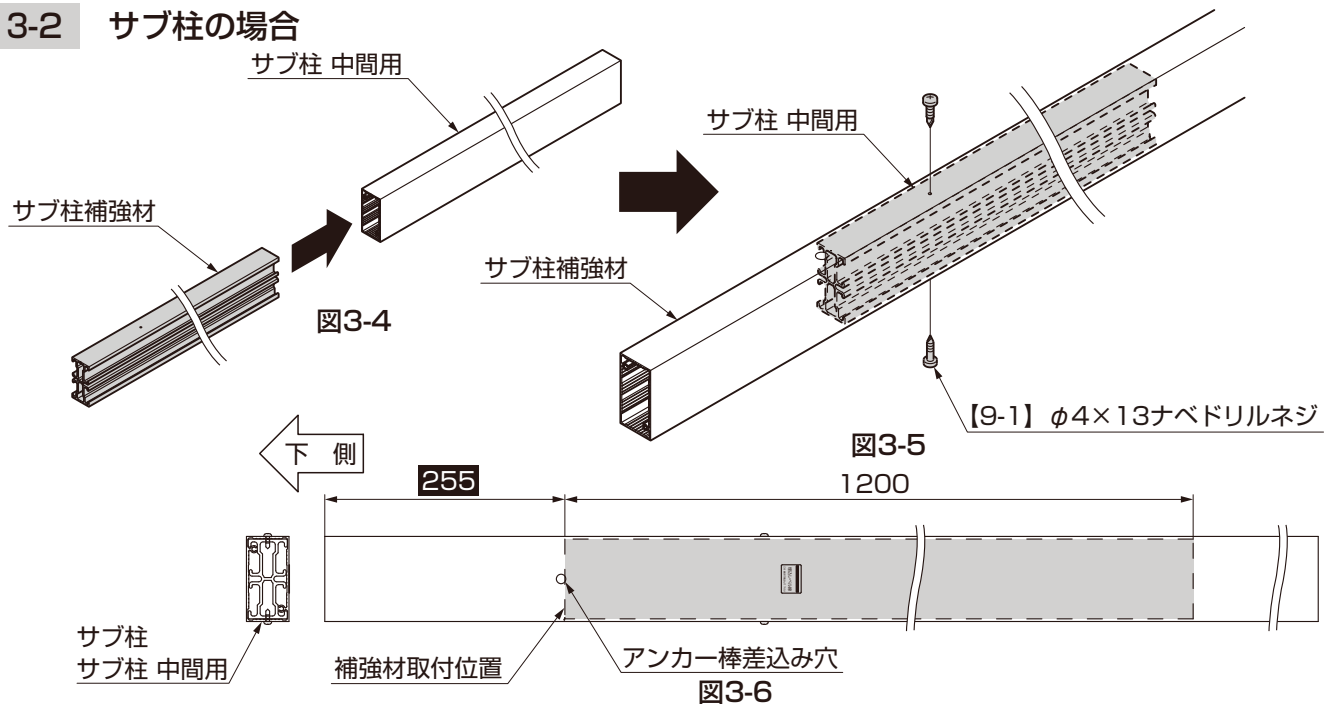


①柱、柱 中間用に柱補強材を入れ【5-1】で取付けてください。(図3-1、図3-2、図3-2参照)

ポイント

- アンカー棒の差込み穴から柱補強材の位置を確認することができます。

3-2 サブ柱の場合



①サブ柱にサブ柱補強材を入れ【9-1】で取付けてください。(図3-4、図3-5、図3-6参照)

ポイント

- アンカー棒の差込み穴から柱補強材の位置を確認することができます。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

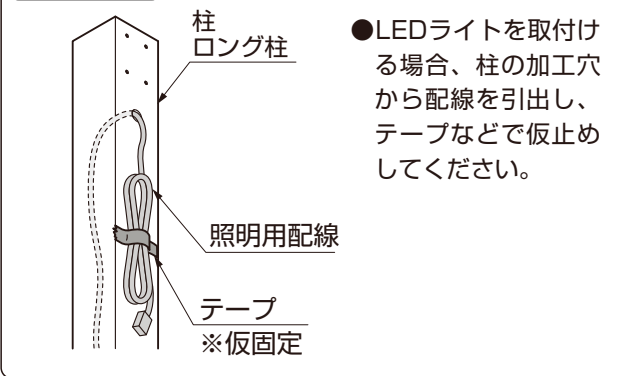
.....

※太桁部材取付けの場合は、「4-7 太桁の取付け」と同時に行なってください。
 ※フリーウォール取付けの場合は、「Gスクリーン フリーウォール (C445)」を参照し同時に作業を行なってください。

4. 柱フレームの取付け

4-1 標準・門扉モジュールの場合

ポイント



フレーム
フレーム門扉モジュール

- 【13-1】φ5×16ナベドリルネジ
- 【12-1】φ5×16ナベドリルネジ

柱
ロング柱

アンカー棒

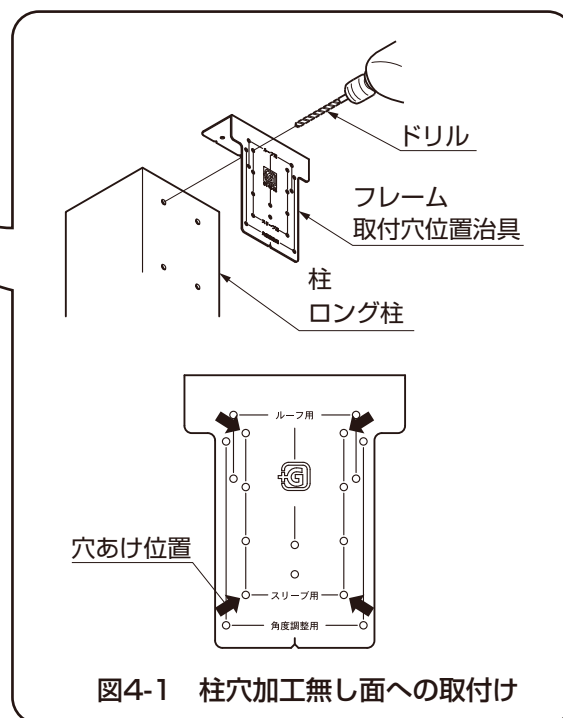


図4-1 柱穴加工無し面への取付け

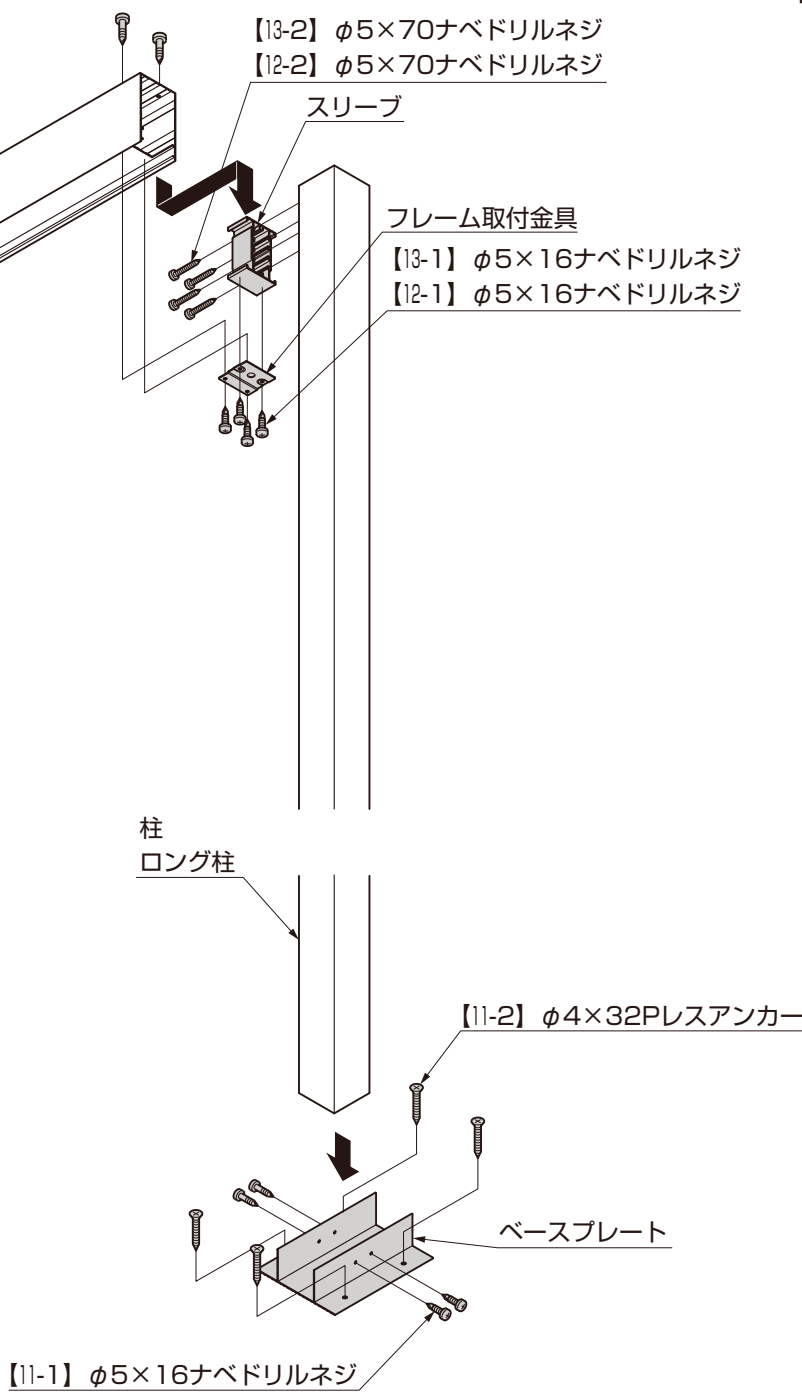


図4-2

1.柱とフレームの取付け

- ①フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴をあけてください。
(図4-1参照)
- ②柱にスリーブを【12-2】または【13-2】で取付けてください。

ポイント

- 角度調整部材を使用する場合は「4-5 角度調整部材を使用する場合」を参照してください。

- ③柱にアンカー棒を差込み柱を建込んでください。

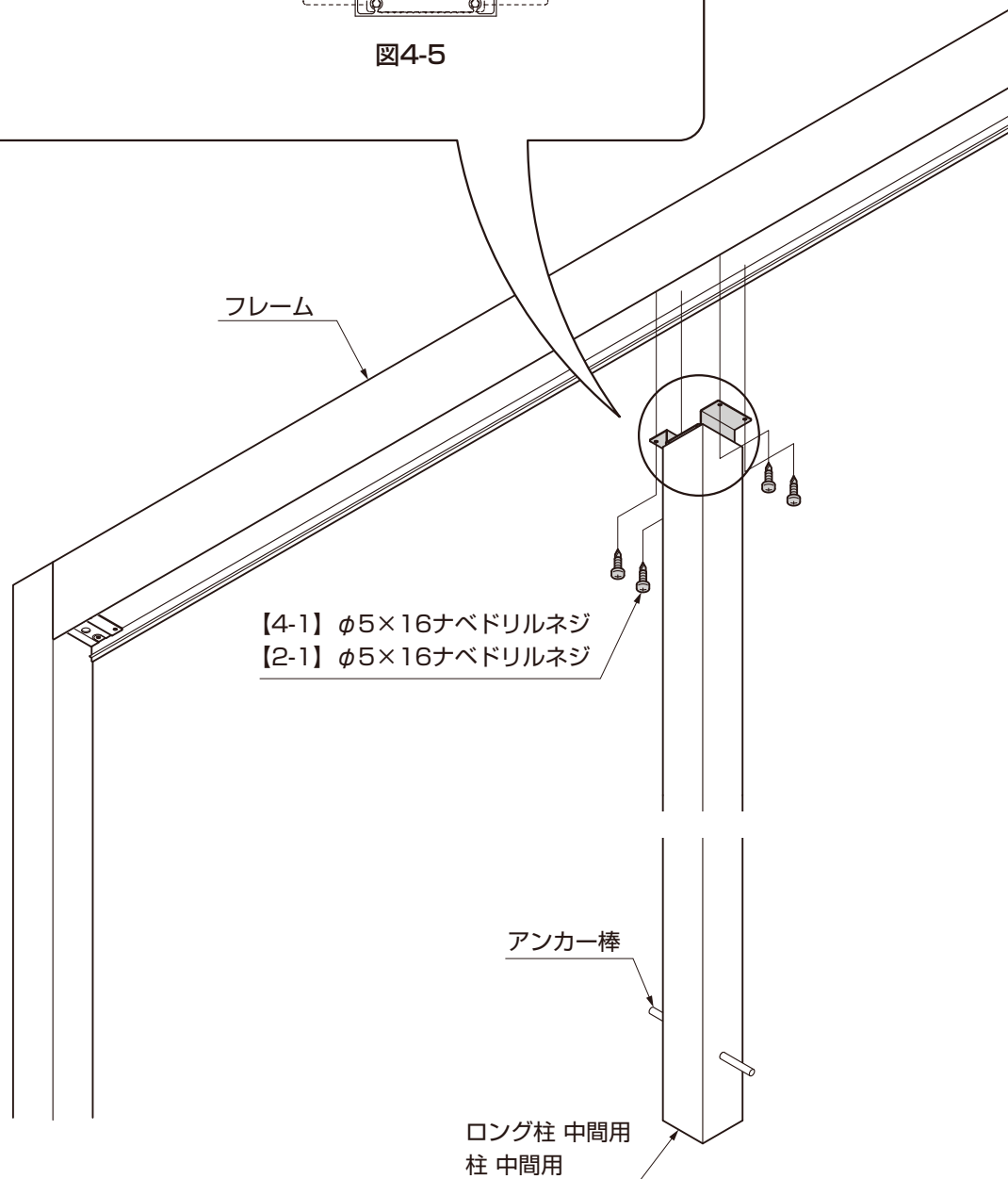
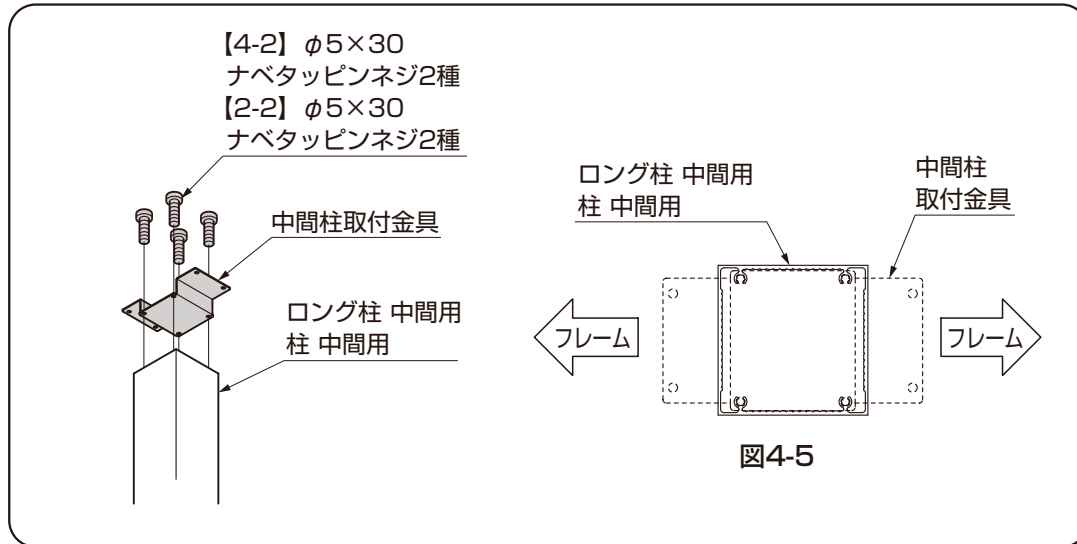
ポイント

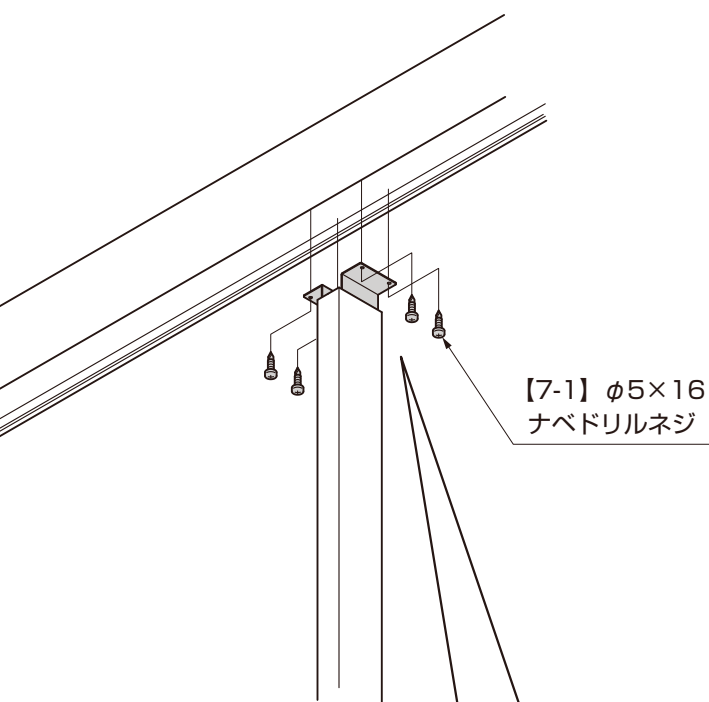
- 柱をベースプレートを使って固定する場合は【11-1】、【11-2】で取付けてください。
(図4-2参照)
- フレームは仮止めとしてください。

- ④スリーブをフレームに、【12-2】または【13-2】で取付けてください。
- ⑤スリーブとフレームにフレーム取付金具を、【12-1】または【13-1】で取付けてください。

4. (つづき)

4-2 中間柱取付けの場合





1. 中間柱の場合

- ① 柱 中間用・ロング柱 中間用に中間柱取付金具を、【2-2】または【4-2】で取付けて、フレームに柱 中間用を、【2-1】または【4-1】で取付けてください。(図4-5参照)
- ② 柱 中間用にアンカー棒を差し込み柱を建込んでください。
- ③ サブ柱 中間用にサブ柱取付金具を、【7-2】で取付けて、フレームにサブ柱 中間用を【7-1】で取付けてください。(図4-6参照)
- ④ サブ柱 中間用にアンカー棒を差し込み柱を建込んでください。

ポイント

- 柱 中間用・サブ柱 中間用には向きがあります。(図4-5、図4-6参照)
- フレームカバーは後の手順で取付けますので、キズをつけないように保管してください。

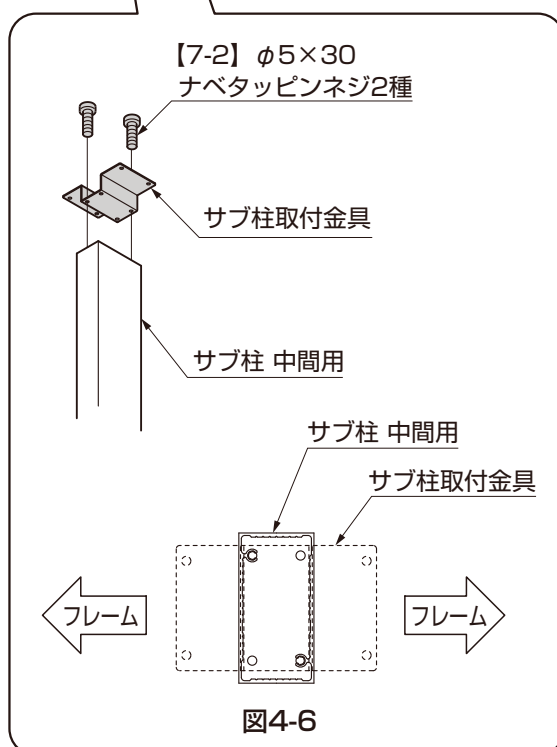
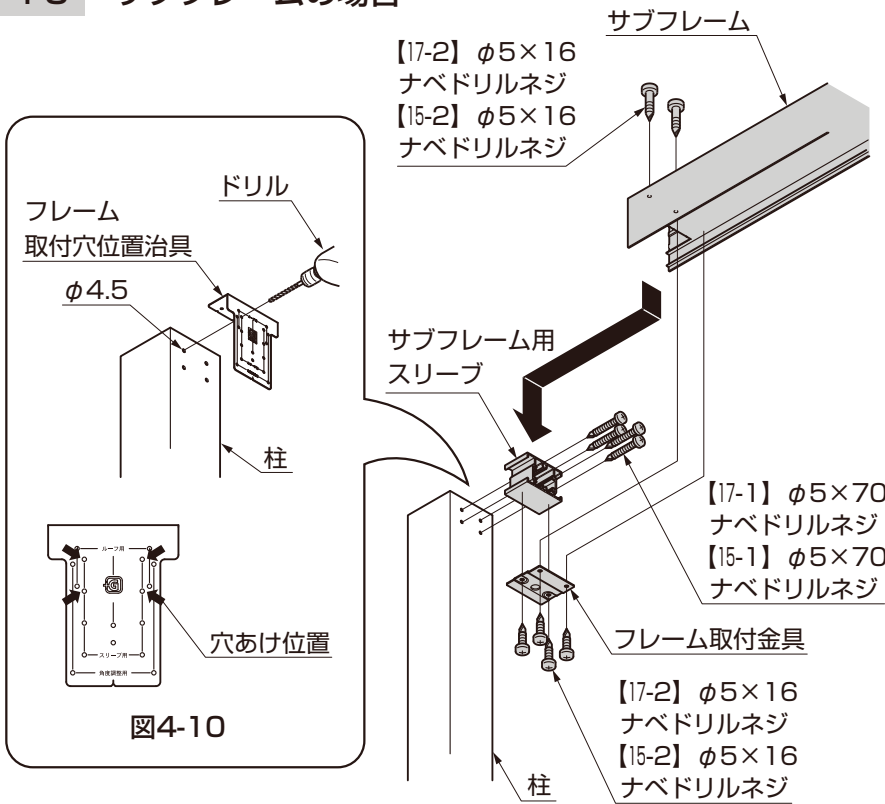


図4-6

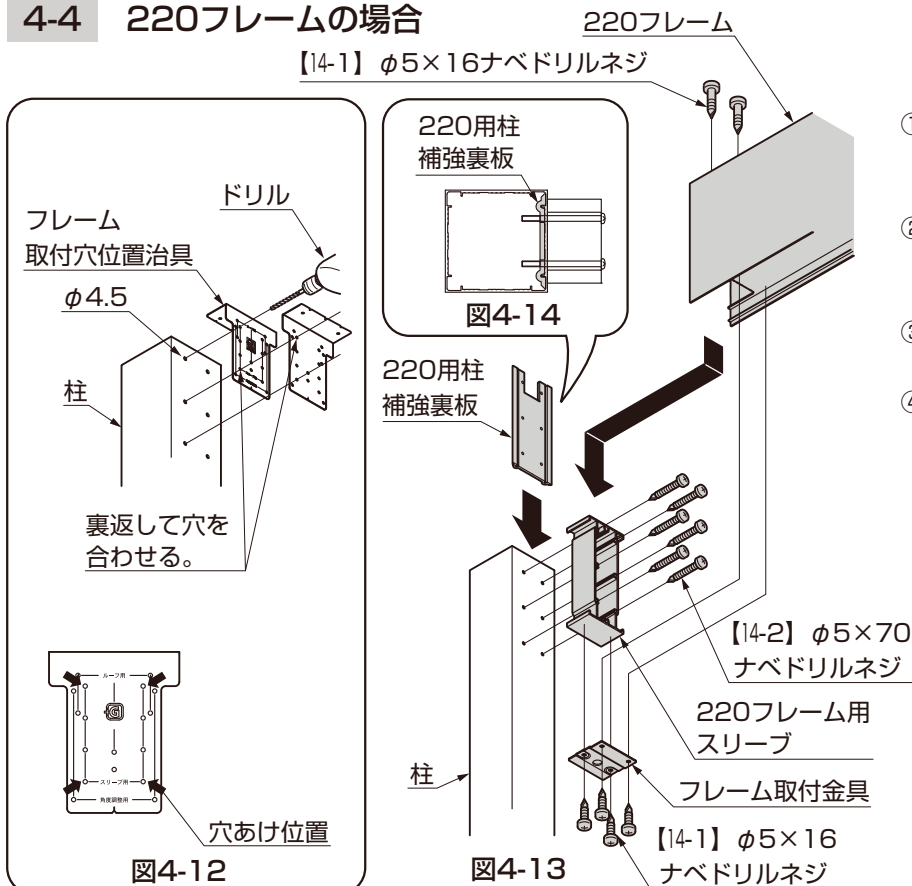
4. (つづき)

4-3 サブフレームの場合



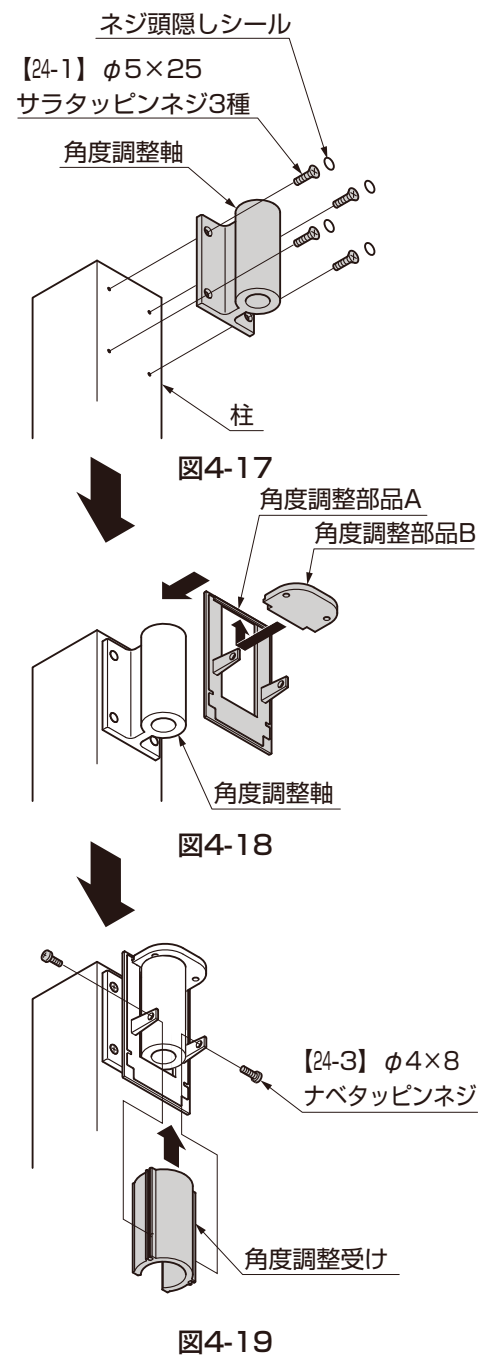
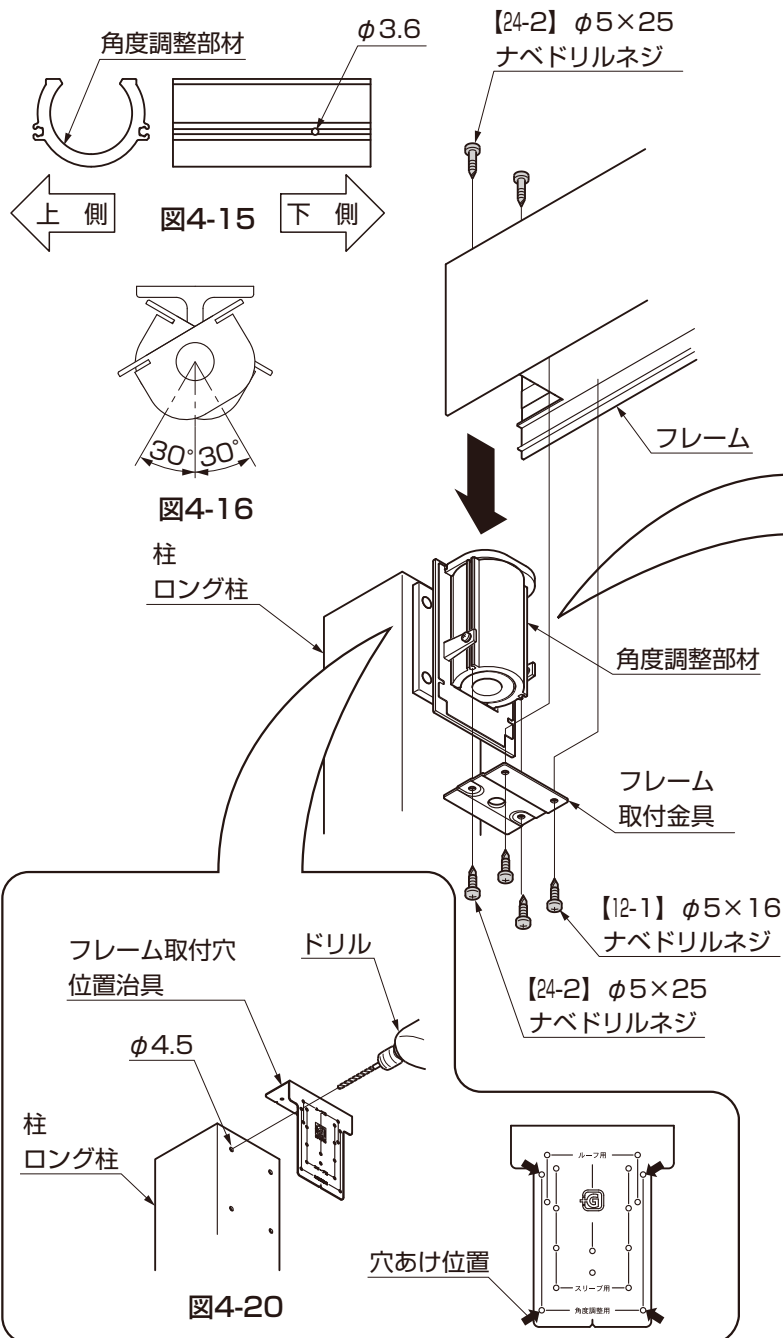
- ① フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴をあけてください。(図4-10参照)
- ② 柱にサブフレーム用スリーブを【15-1】または【17-1】で取付けてください。
- ③ サブフレーム用スリーブをサブフレームに、【15-2】または【17-2】で取付けてください。
- ④ サブフレーム用スリーブとサブフレームにフレーム取付金具を、【15-2】または【17-2】で取付けてください。

4-4 220フレームの場合



- ① フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴をあけてください。(図4-12参照)
- ② 柱内側に220用柱補強裏板を入れ220フレーム用スリーブを【14-2】で取付けてください。
- ③ 220フレーム用スリーブを220フレームに、【14-1】で取付けてください。
- ④ 220フレーム用スリーブと220フレームにフレーム取付金具を、【14-1】で取付けてください。

4-5 角度調整部材を使用する場合



- ①フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴をあけてください。(図4-20参照)
- ②柱に角度調整軸を、【24-1】で取付けてください。(図4-17参照)
- ③ネジ頭隠しシールを貼付けてください。(図4-17参照)
- ④角度調整部品Aに角度調整部品Bを取付けて角度調整軸にはめ込んでください。(図4-18参照)
- ⑤角度調整受けを角度調整部品Aにスライドしてはめ込み【24-3】で取付けてください。(図4-19参照)
- ⑥角度調整部材とフレームにフレーム取付金具を、【12-1】、【24-2】で取付けてください。

ポイント

- 角度調整受けは上下があります。(図4-15参照)
- 角度調整は最大で片側30°の角度にすることができます。
- フレームを仮止めとしてください。

4. (つづき)

4-6 丸柱の取付け

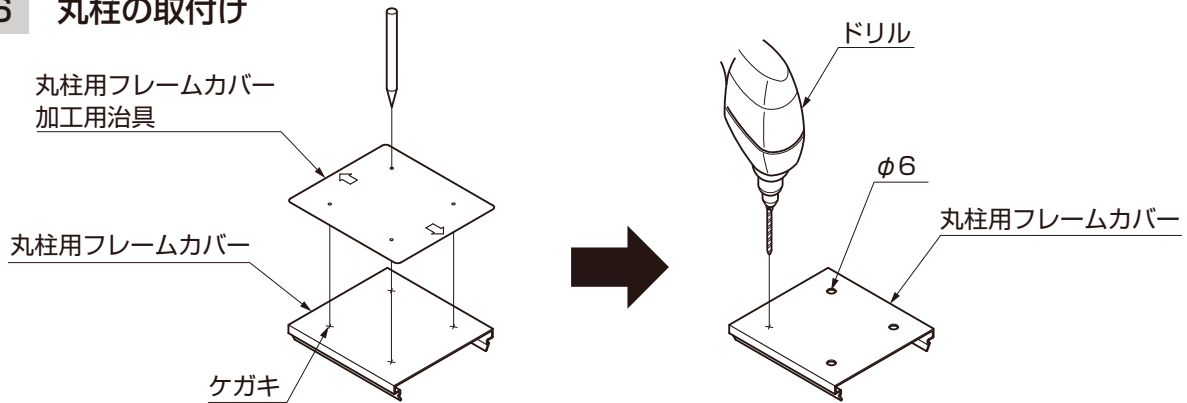


図4-21 丸柱用フレームカバーの加工

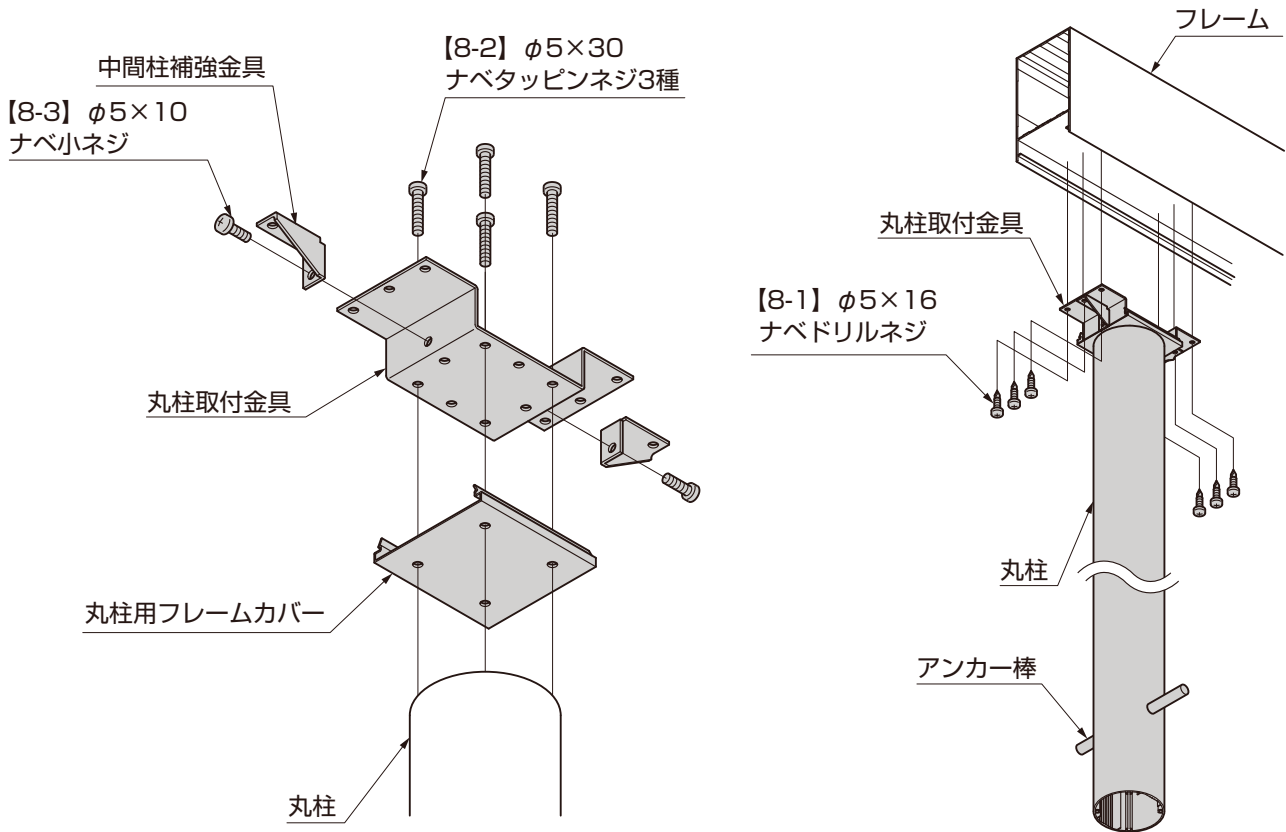


図4-22 丸柱の組立て

図4-23

- ①丸柱フレームカバー加工治具で丸柱用フレームカバーにケガキ、φ6の穴加工を行ってください。(図4-21参照)
- ②丸柱取付金具に中間柱補強金具を【8-3】で取付けてください。(図4-22参照)
- ③丸柱取付金具、丸柱用フレームカバー、丸柱を【8-2】で取付けてください。(図4-22参照)
- ④丸柱取付金具をフレームに【8-1】で取付けてください。(図4-23参照)
- ⑤丸柱中間用にアンカー棒を差込み建込んでください。(図4-23参照)

ポイント

- 丸柱用フレームカバーは5色同梱されています。取付フレームに合った色をご使用ください。
- フレームとフレーム連結用の接続部分に丸柱 中間用を取付ける場合は「4-2 連結・中間柱取付けの場合 図4-9 柱 中間用移動範囲」を参照ください。

4-7 太桁部材の取付け

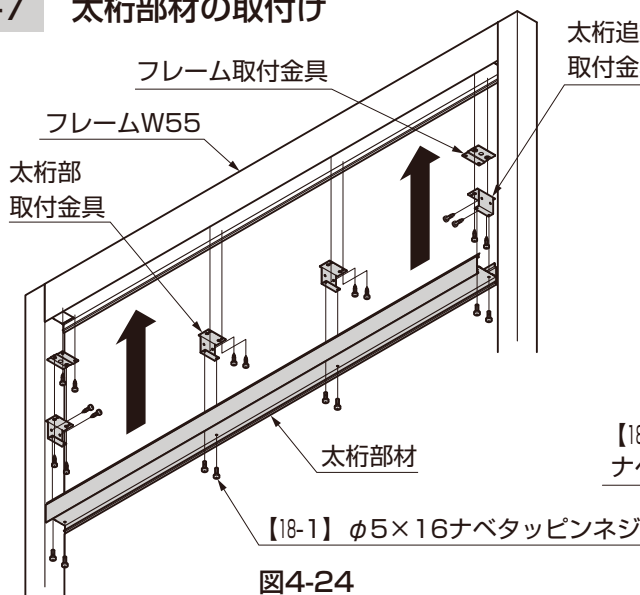


図4-24

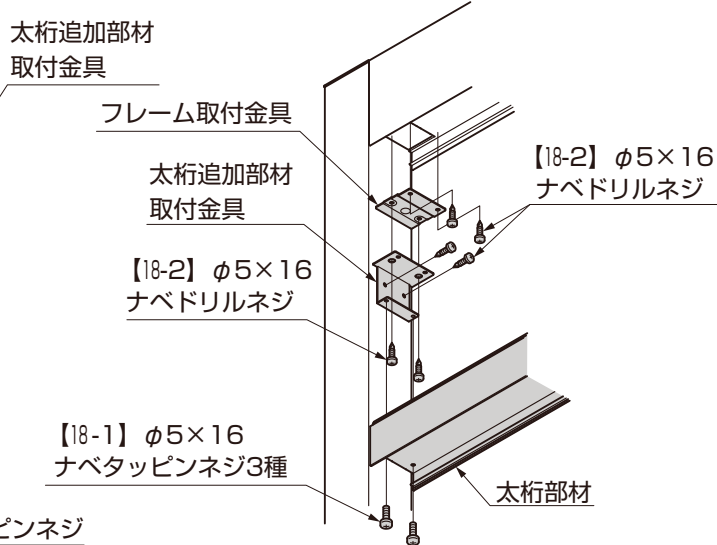


図4-25 太桁部取付け詳細

① フレームにフレーム取付金具、太桁追加部材取付金具を【18-1】で取付けてください。

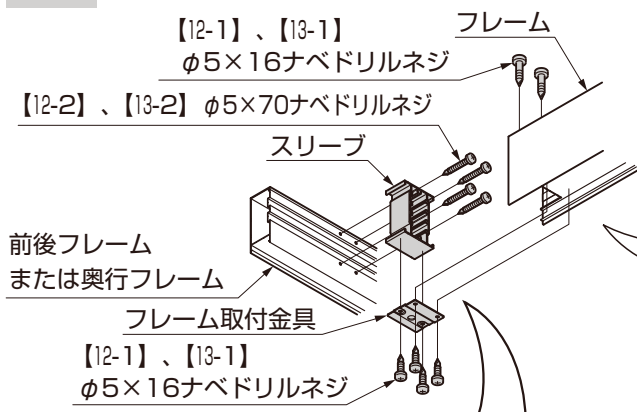
ポイント

● フレームの取付けと同時に行う作業です。

② 太桁追加部材取付金具を【18-1】で柱に取付けてください。

③ 太桁追加部材取付金具に太桁部材を【18-2】で取付けてください

4-8 カールタイプへの取付け

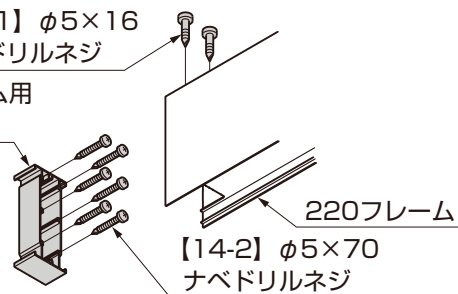


ポイント

【220フレームを取付ける場合】

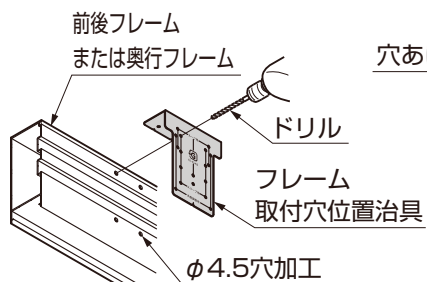
【14-1】φ5×16
ナベドリルネジ

220フレーム用
スリーブ

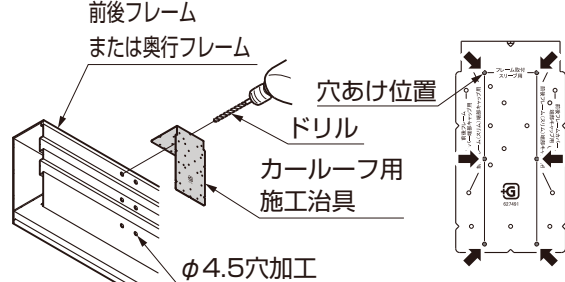


● 220フレーム用スリーブを使用してください。

【フレームを取付ける場合】



【220フレームを取付ける場合】



① フレーム取付穴位置施工治具を前後フレームまたは奥行フレームに当て、ケガキ、φ4.5の穴加工をしてください。

② スリーブを前後フレームまたは奥行フレームに【12-2】、【13-2】、【14-2】で取付けてください。

③ フレームとフレーム取付金具をスリーブに【12-1】、【13-1】、【14-1】で取付けてください。

4. (つづき)

4-9 Gルーフ フリータイプ枠の取付け ※Gルーフ フリータイプ用のフレームの施工ルールは、「Gルーフ フリータイプ取付説明書 (E258)」 1 施工の前の重要確認事項」を参照してください。

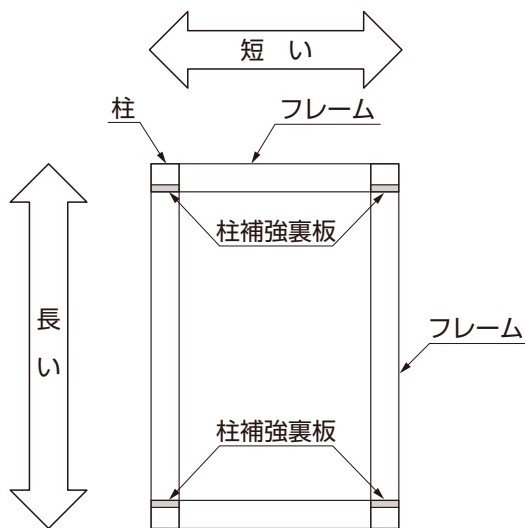
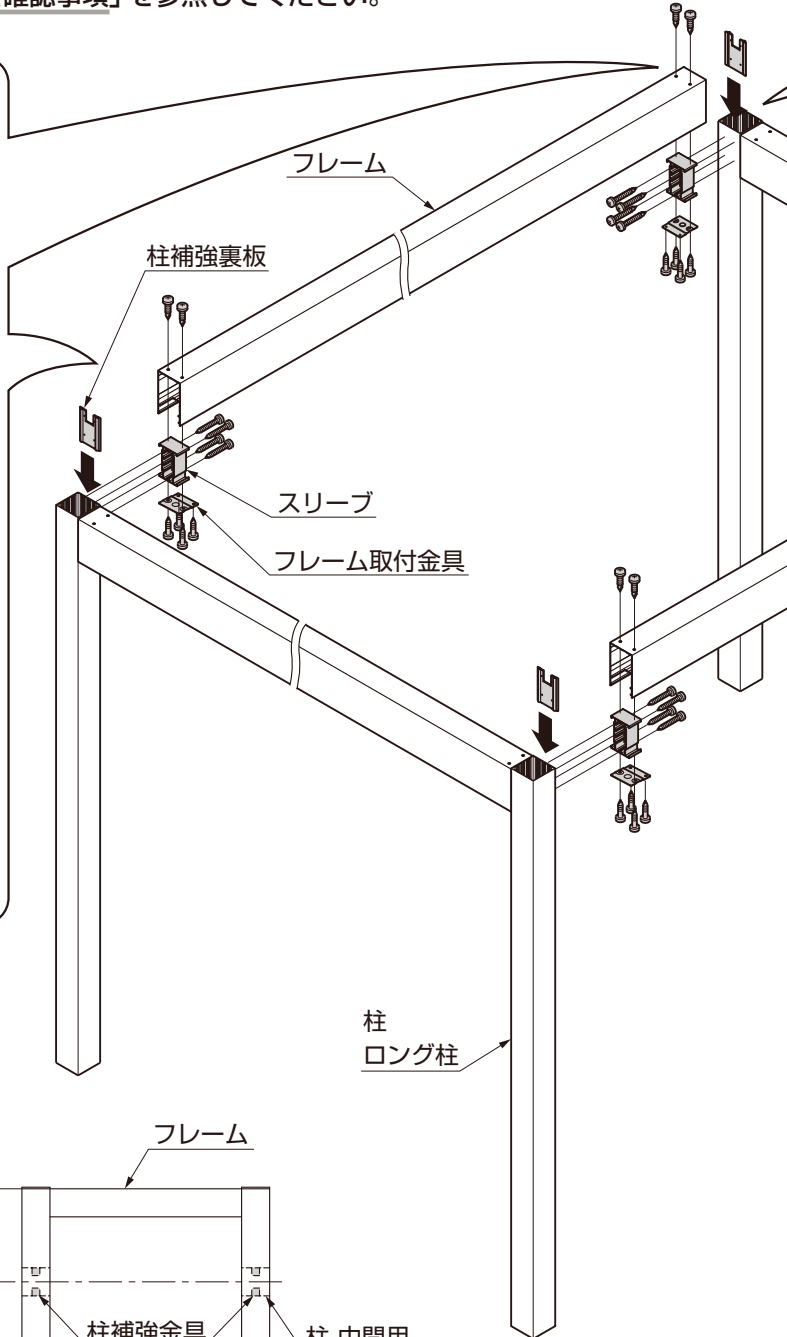
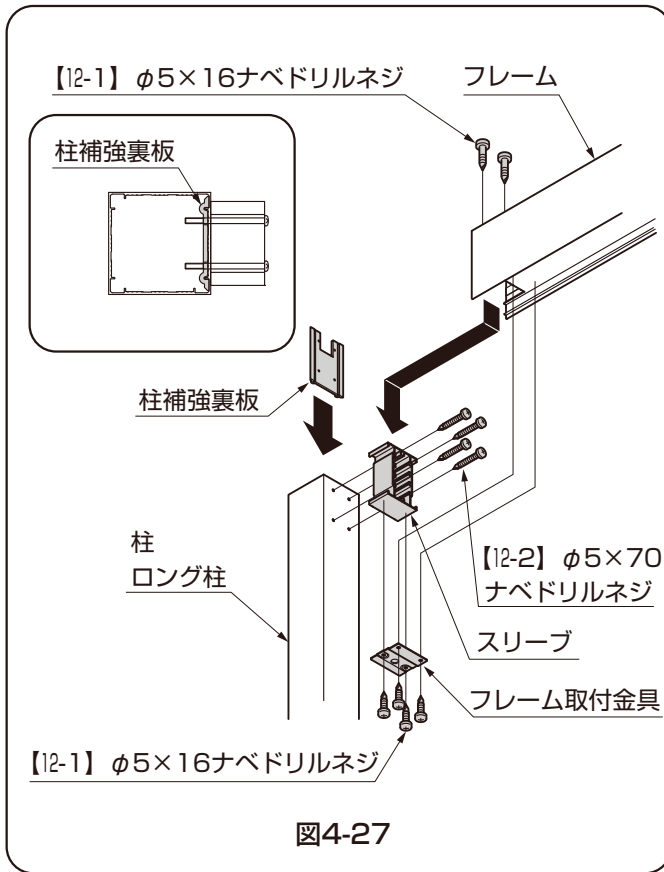


図4-28 4隅に柱がある場合の柱補強部品位置

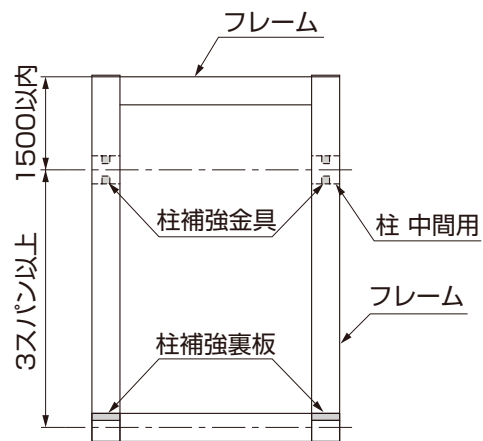


図4-29 柱 中間用を使用した場合の柱補強部品位置

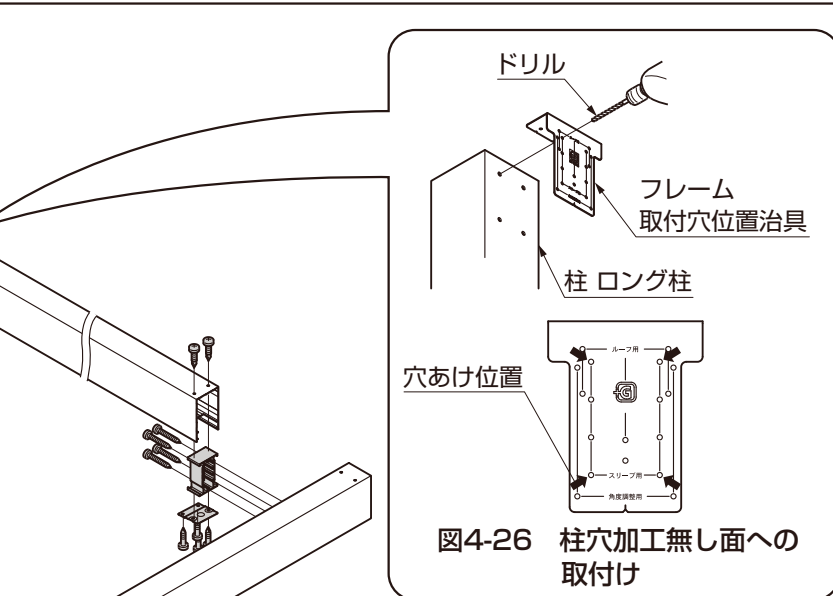


図4-26 柱穴加工無し面への取付け

ポイント

●基本寸法図を参考にフレームの切断、穴加工をしてください。

1.柱・柱補強裏板とフレームの取付け

- ①フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴をあけてください。(図4-26参照)
- ②柱内側に柱補強裏板を入れ、スリーブを【12-2】で取付けてください。(図4-27、図4-28参照)
- ③スリーブをフレームに、【12-1】で取付けてください。
- ④スリーブとフレームにフレーム取付金具を、【12-1】で取付けてください。
- ⑤柱にアンカー棒を差込み柱を建込んでください。

ポイント

- 柱補強裏板の取付け位置は図4-26を参照してください。
- 柱補強裏板の取付けをしない柱とフレームの取付けは「4-1 標準・門扉モジュールの場合」を参照してください。
- フレームは仮止めとしてください。

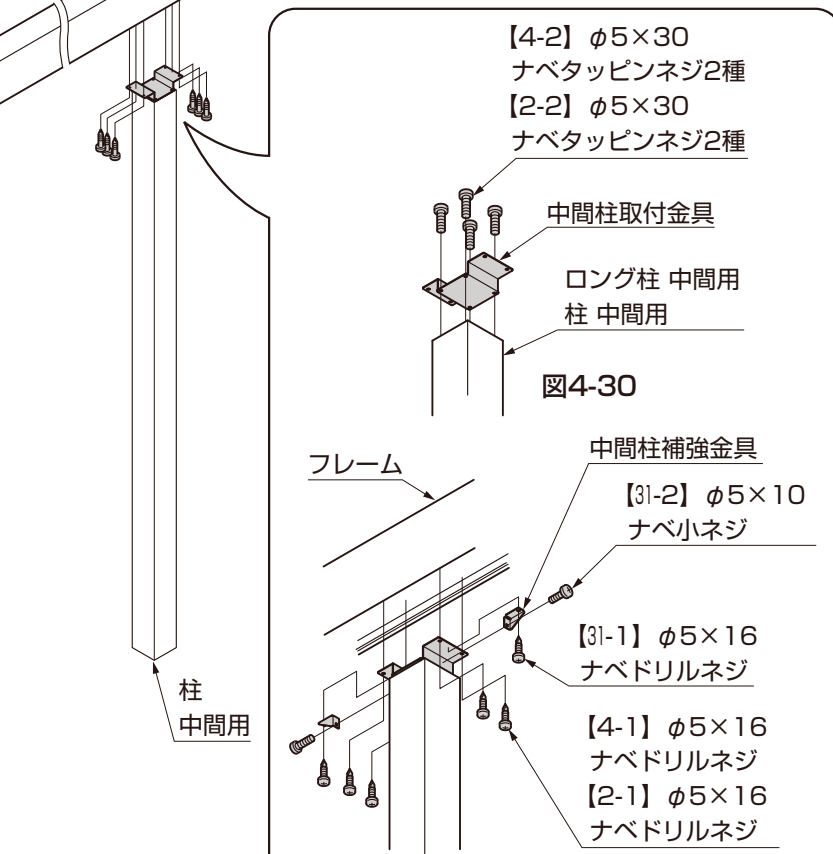


図4-30

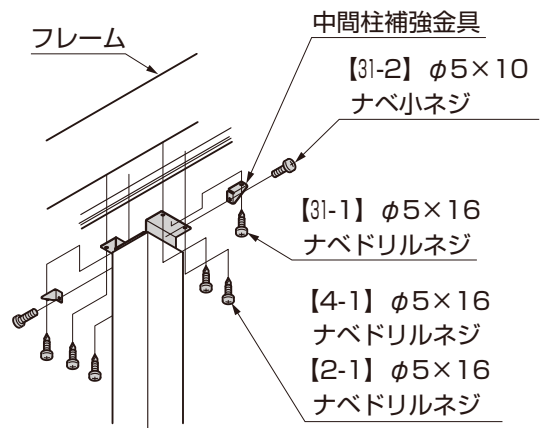


図4-31

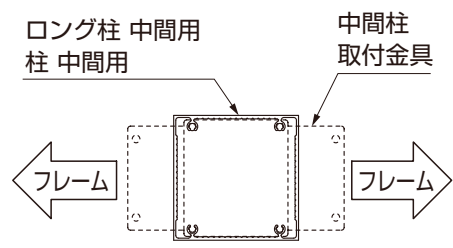


図4-32

2.柱 中間用・補強金具とフレームの取付け

ポイント

- 丸柱 中間用を使用する場合は「4-6 丸柱の取付け」を参照してください。
- 柱中間用に補強金具を取付けた場合、Gスクリーン角格子タイプ、横格子タイプのフレーム付けはできません。

- ①柱 中間用に中間柱取付金具を、【2-2】または【4-2】で取付けてください。(図4-30参照)
- ②中間柱補強金具を中間柱取付金具に【31-2】で取付けてください。(図4-31参照)
- ③中間柱補強金具、中間柱取付金具を【31-1】、【2-1】または【4-1】でフレームに取付けてください。(図4-30参照)
- ④柱 中間用にアンカー棒を差込み柱を建込んでください。

ポイント

- 柱 中間用には向きがあります。(図4-32参照)
- 柱 中間用の持ち出し施工はフレーム端部から1500以内にしてください。(図4-29参照)
- フレームカバーは後の手順で取付けますので、キズをつけないように保管してください。
- フレーム端部キャップの取付けは「10.フレーム端部キャップの取付け」を参照してください。
- フレームは仮止めとしてください。

5. フレーム・パーゴラフレームの躯体取付け

5-1 躯体付けフレームへの取付けの場合

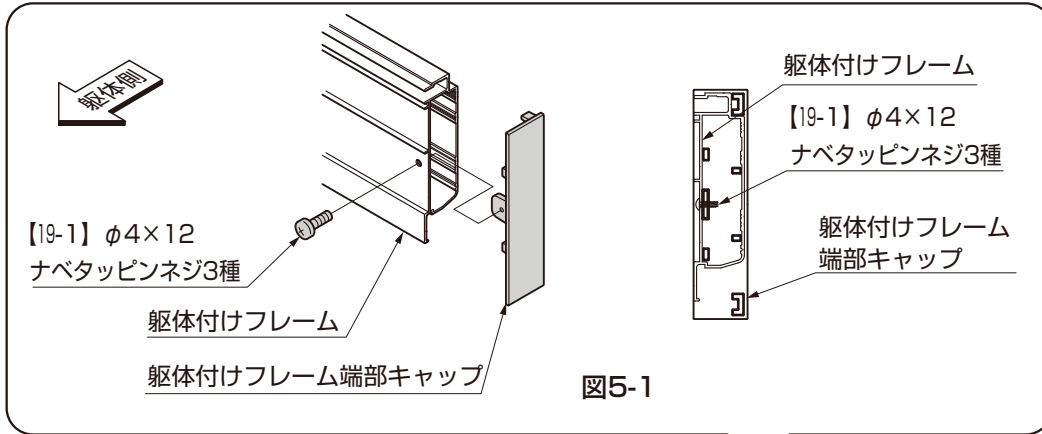


図5-1

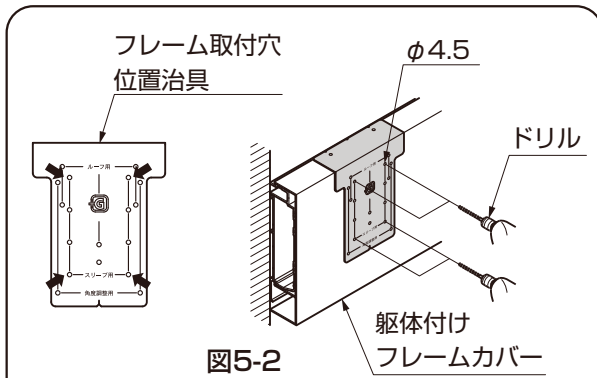


図5-2

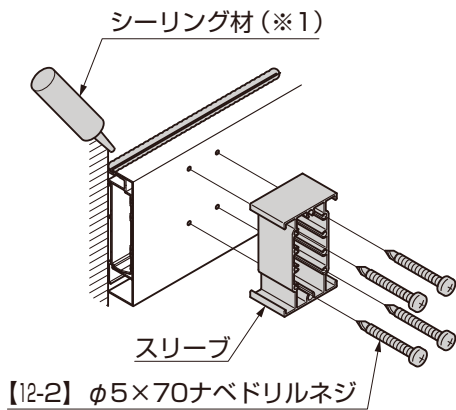


図5-3

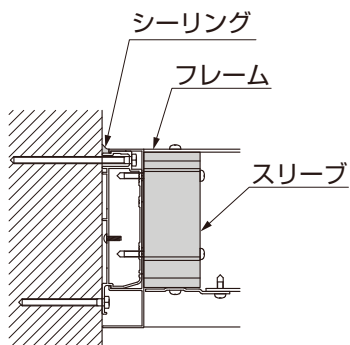
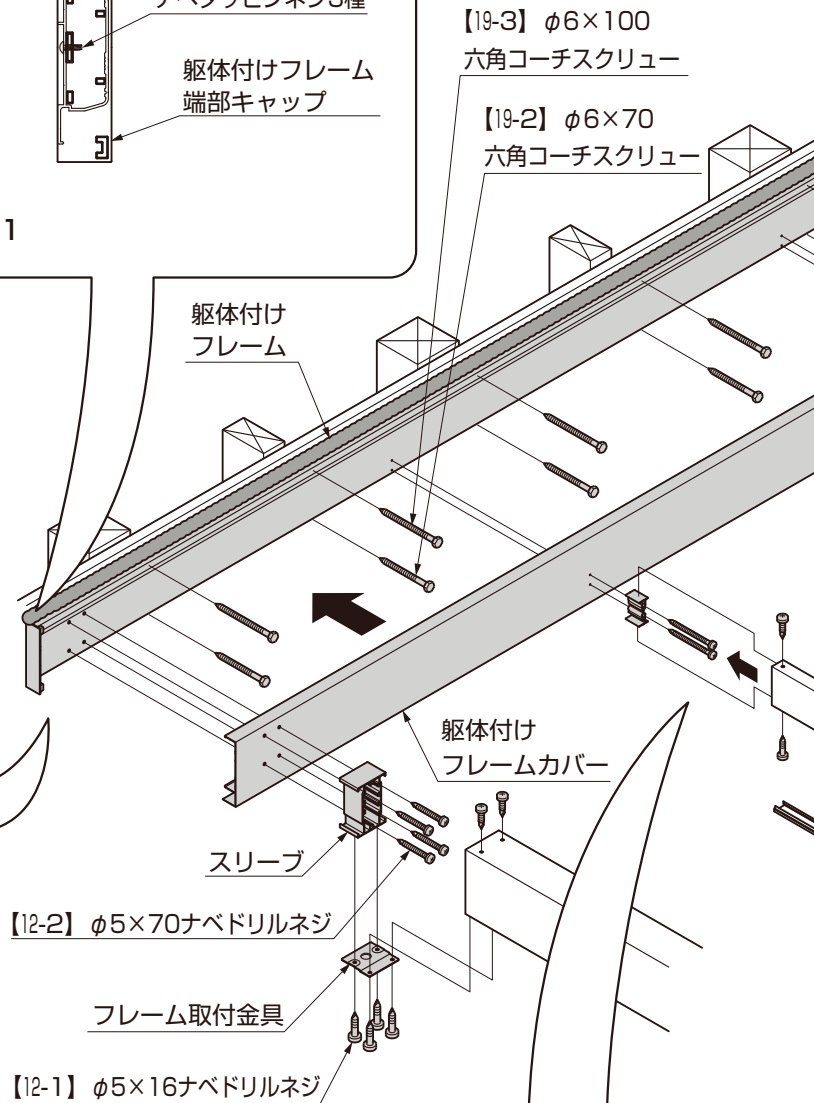


図5-4



【12-2】φ5×70ナベドリルネジ

フレーム取付金具

【12-1】φ5×16ナベドリルネジ

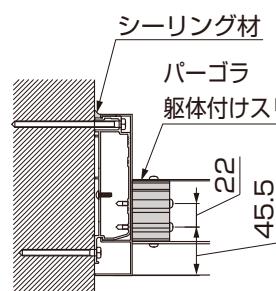


図5-5
取付け位置下の場合

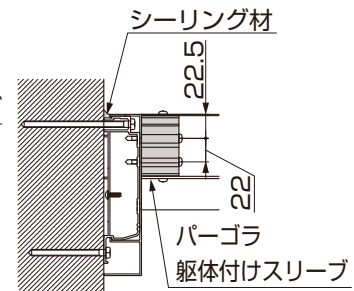
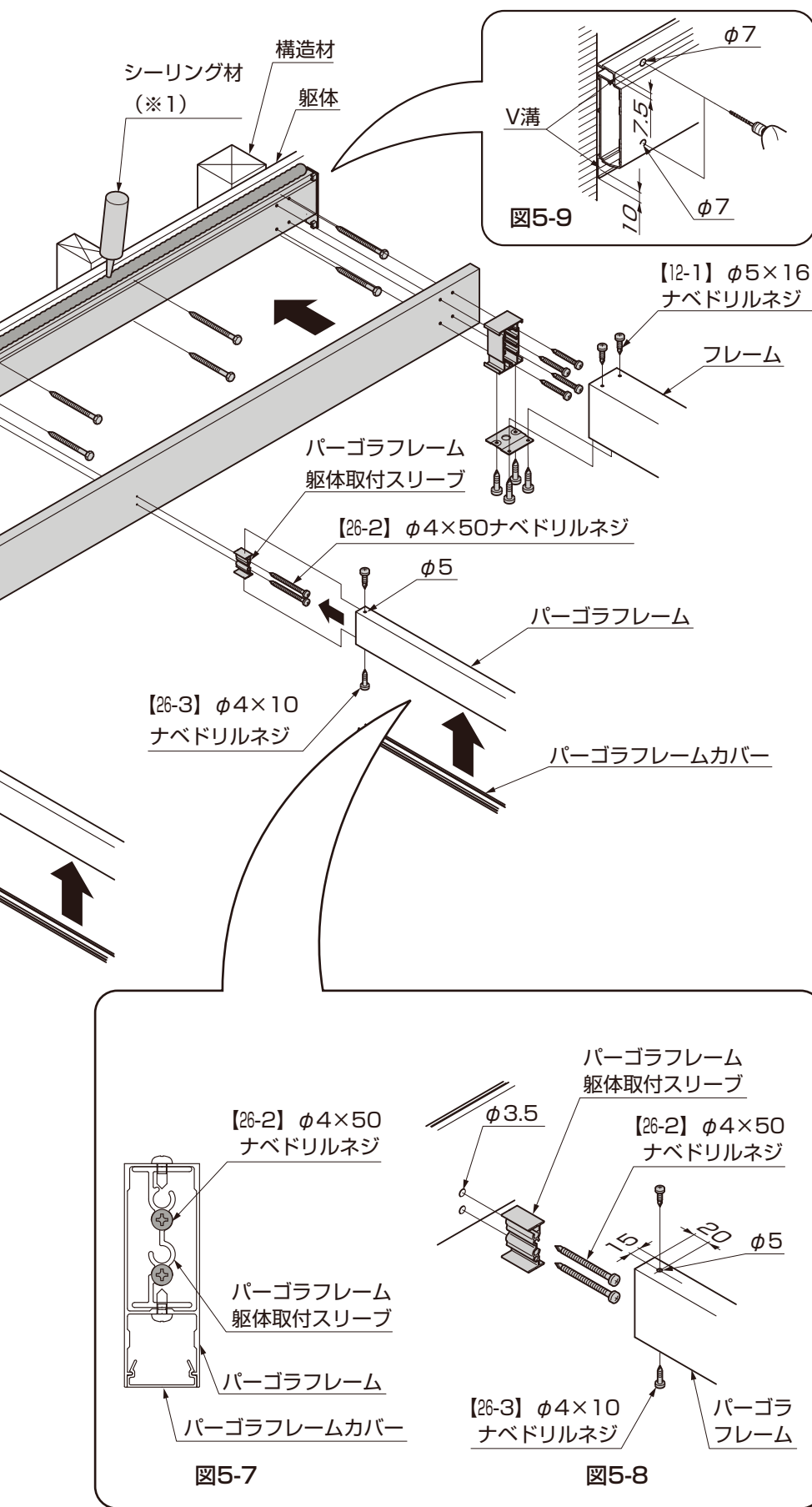


図5-6
取付け位置上の場合



1. 躯体付けフレームの取付け

- ① 躯体付けフレーム端部キャップを躯体付けフレームに【19-1】で取付けてください。(図5-1参照)

ポイント

- 躯体付けフレーム端部キャップは後付けできません。

- ② 躯体付けフレームの止め付け位置にφ7の穴をあけ【19-2】、【19-3】で躯体に取付けてください。(図5-9参照)

注意

- 躯体付けフレームは必ず躯体の柱・間柱等の構造材に取付けてください。部材が落下してケガをすおそれがあります。

- ③ 躯体付けフレームに躯体付けフレームカバーを取付けてください。

- ④ 躯体付けフレームと躯体間をシーリング処理してください。

ポイント

- シーリング材は現場で手配してください。(※1)

2. フレーム・躯体付けフレームの取付け

- ① フレーム取付穴位置治具を躯体付けフレームカバーに当て、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴をあけてください。(図5-2参照)

- ② スリーブを躯体付けフレームに【12-2】で取付けてください。

- ③ フレームをスリーブに【12-1】、フレーム取付金具で取付けてください。

ポイント

- フレームは仮止めにしてください。

3. パーゴラフレーム・躯体付けフレームの取付け

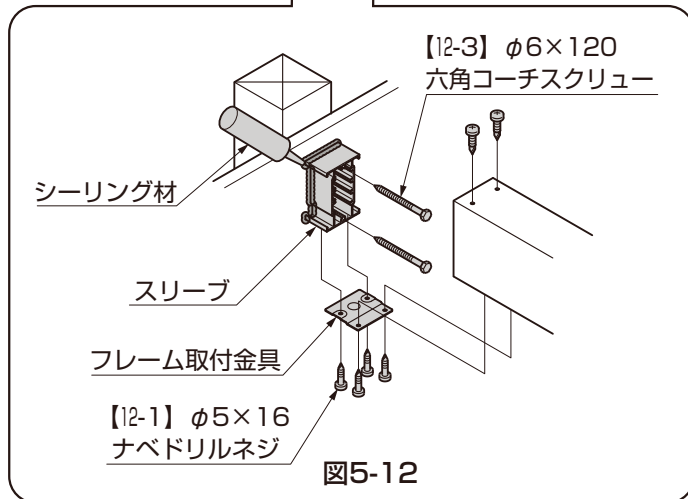
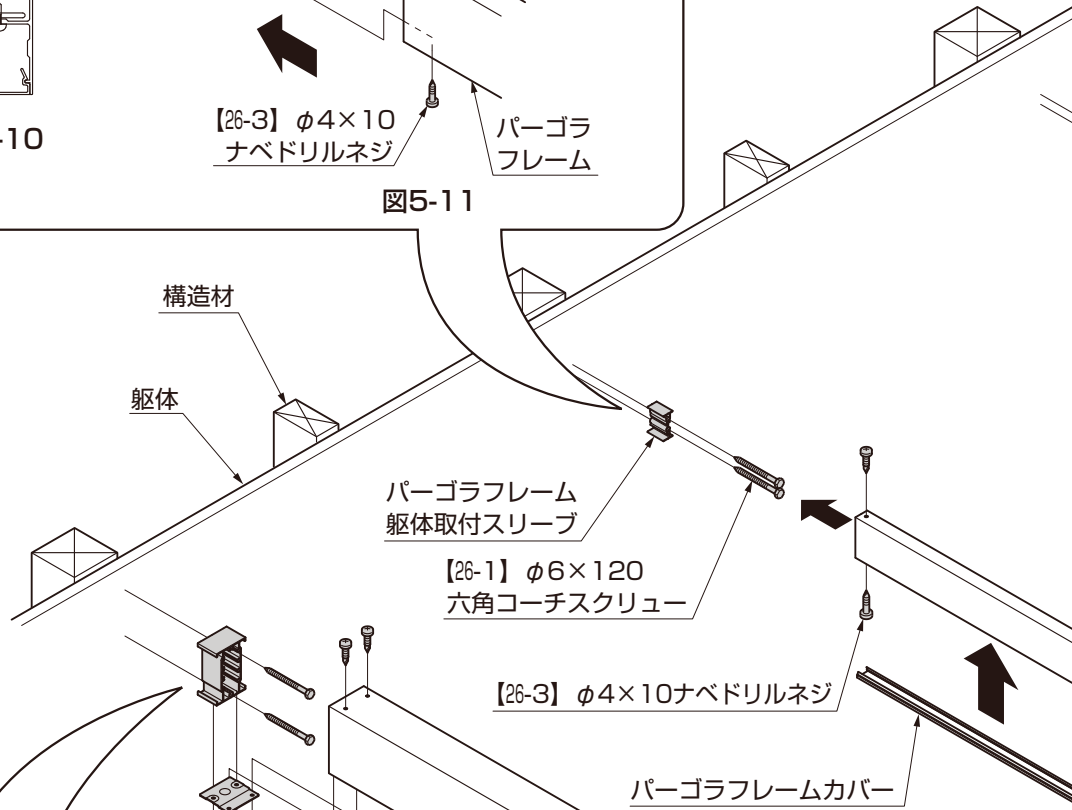
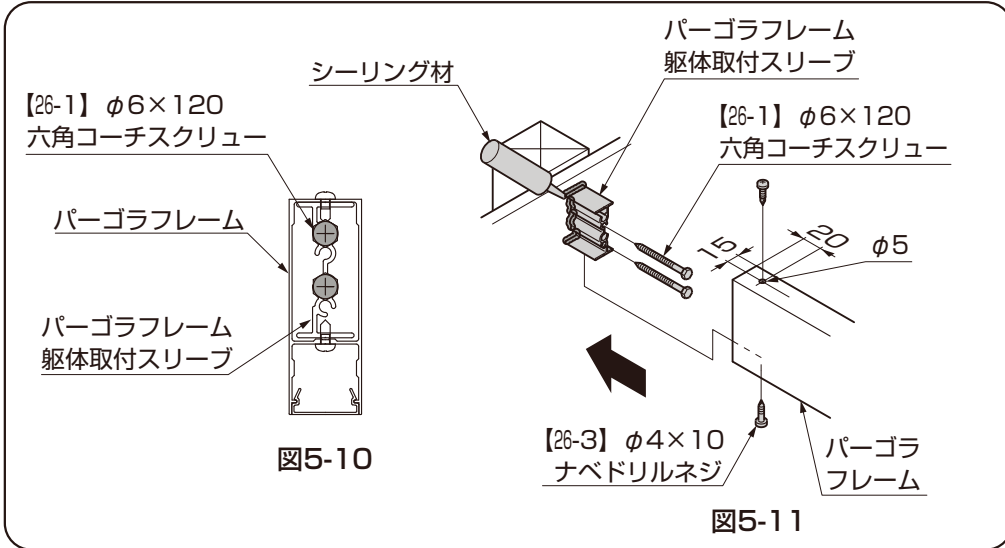
- ① パーゴラフレーム躯体取付スリーブを、躯体付けフレームカバーにφ3.5の穴をあけ【26-2】で取付けてください。(図5-8参照)

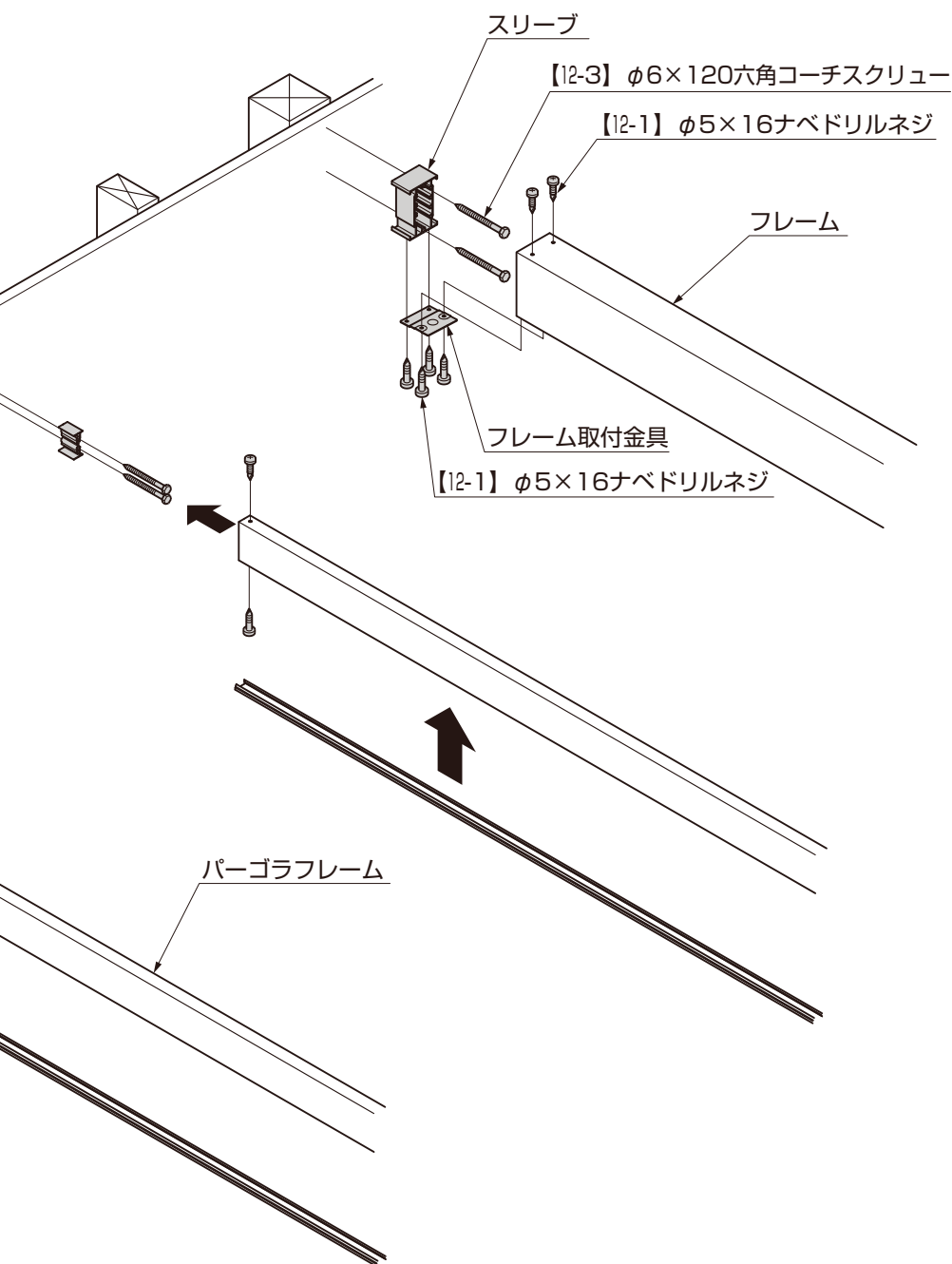
- ② パーゴラフレームにφ5の穴をあけパーゴラフレーム躯体取付スリーブに【26-2】で取付けてください。

- ③ パーゴラフレームにパーゴラフレームカバーをはめ込んでください。

5. (つづき)

5-2 躯体直付けの場合





1. フレームの取付け

①スリーブを躯体に【12-3】で取付けてください。

⚠ 注意

●スリーブ、パーゴラフレーム躯体取付スリーブは必ず躯体の柱・間柱等の構造材に取付けてください。部材が落下してケガをするおそれがあります。

②フレームをスリーブに【12-1】で取付けてください。

③フレーム取付金具をスリーブ、フレームに【12-1】で取付けてください。

🔑 ポイント

- フレームは仮止めとしてください。
- 躯体には必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。

2. パーゴラフレームの取付け

①パーゴラフレーム躯体取付スリーブを【26-1】で取付けてください。

②躯体とパーゴラフレーム、フレームにシーリングをしてください。
(図5-11、図5-12参照)

🔑 ポイント

- 躯体には必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。

③パーゴラフレームにφ5の穴をあけ【26-3】でパーゴラ躯体取付スリーブに取付けてください。

④パーゴラフレームにパーゴラフレームカバーをはめ込んでください。

5. (つづき)

5-3 パーゴラフレームの取付け

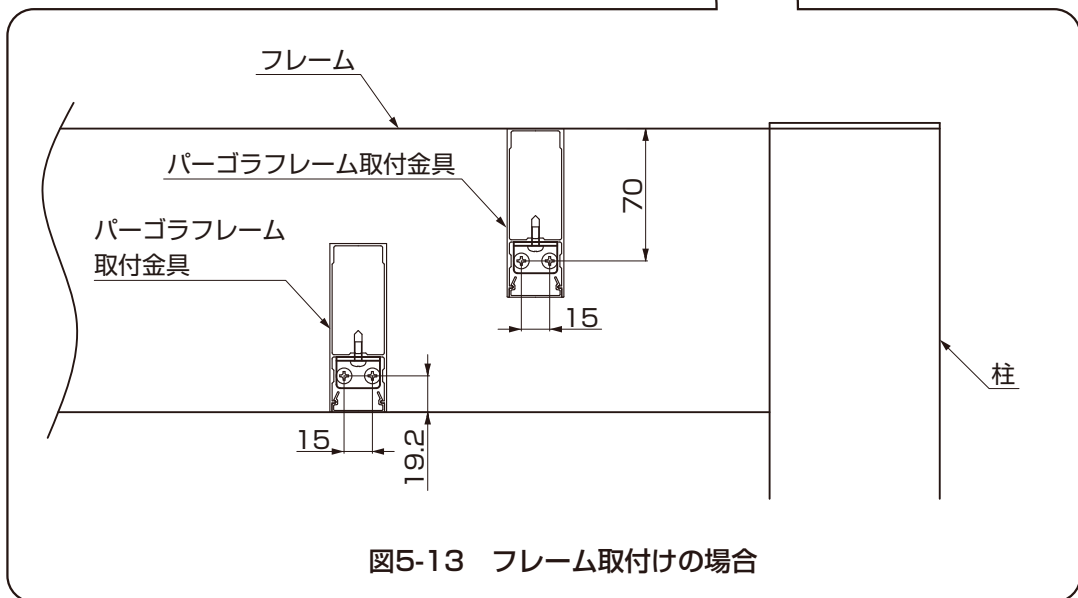
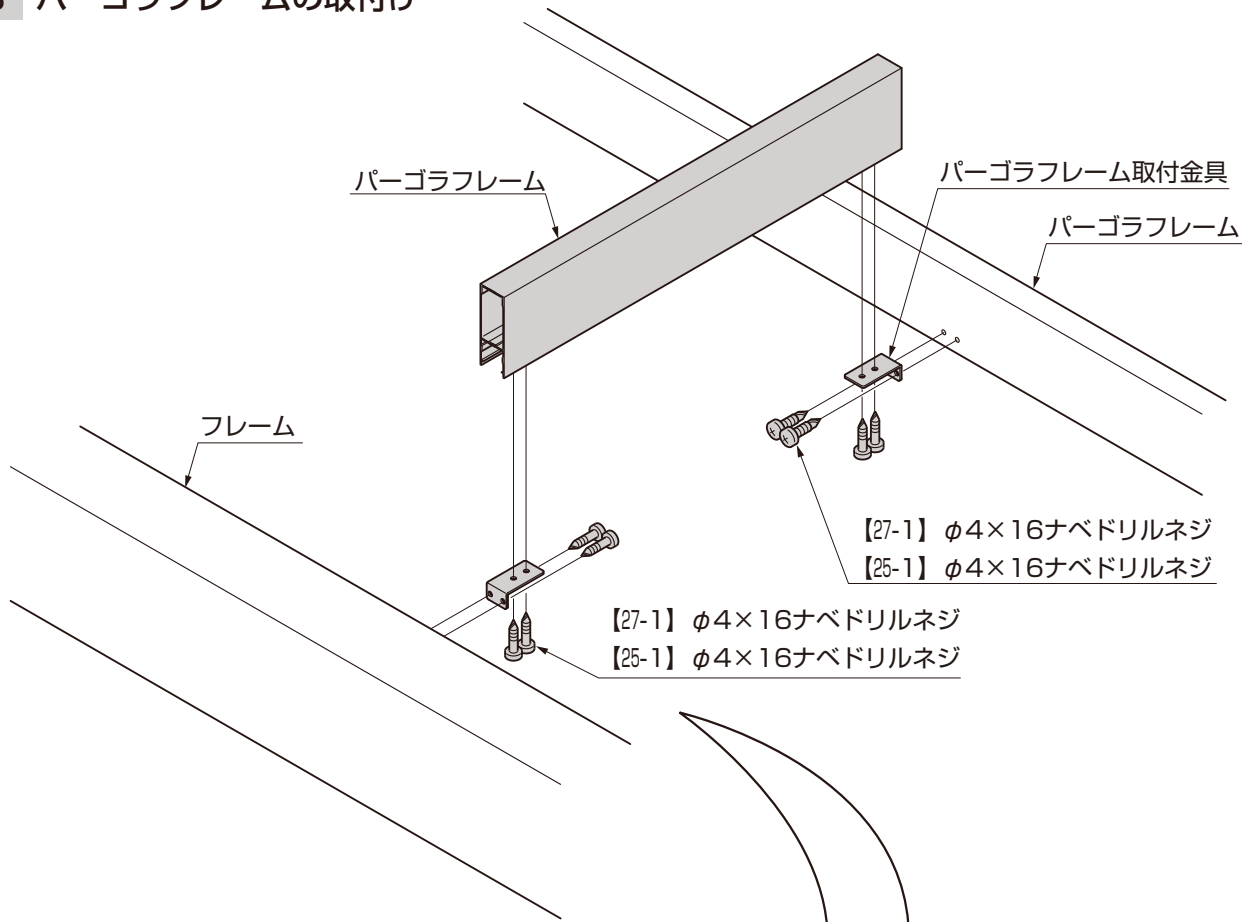


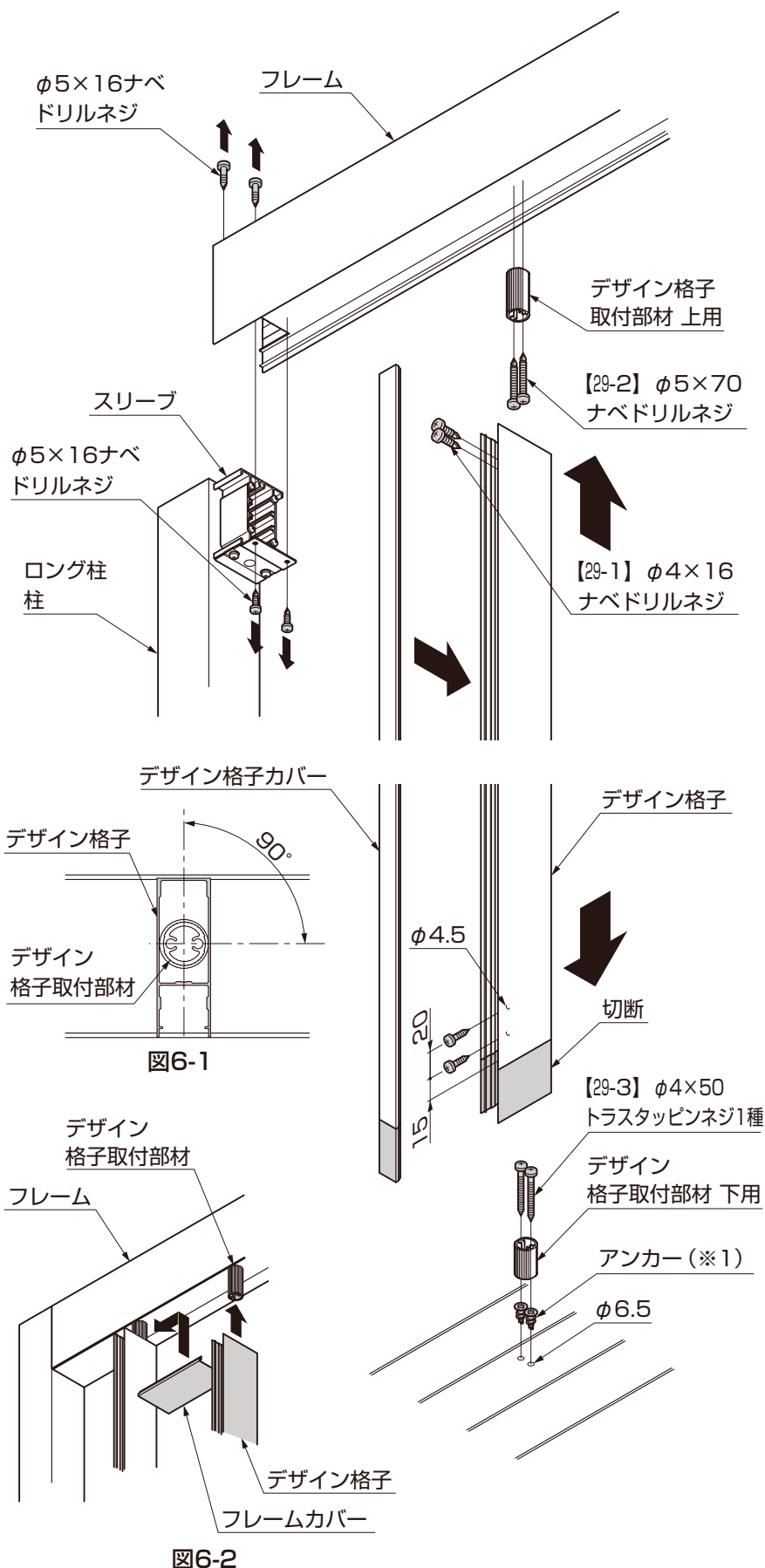
図5-13 フレーム取付けの場合

- ① パーゴラフレーム取付金具をフレーム、パーゴラフレーム、柱へ【25-1】または【27-1】で取付けてください。
- ② パーゴラフレームをパーゴラフレーム取付金具に【25-1】または【27-1】で取付けてください。

ポイント

- フレームへの取付けは図5-13を参照して取付けてください。

6. デザイン格子デッキ上施工の取付け



- ①デザイン格子取付部材 上用をフレームに【29-2】で取付けてください。
- ②デザイン格子取付部材 下用を【29-3】、「アンカー」でデッキに取付けてください。

ポイント

- ※1の部材は人工木材の場合に使用します。取付けの際にφ6.5の穴をあけてください。
- デザイン格子取付部材はデザイン格子の取付角度に対して90°に取付けてください。(図6-1参照)
- デザイン格子デッキ上施工の場合は、デザイン格子の取付角度は図5-1の範囲で可能です。

- ③デザイン格子、デザイン格子カバーを現場に合わせて切断し、φ4.5の穴をあけてください。
- ④仮止めしているフレームの「φ5×16ナベドリルネジ」をはずして、フレームを持ち上げ、デザイン格子取付部材にデザイン格子を【29-1】で取付けてください。
- ⑤デザイン格子取付け後、さきほど外した「φ5×16ナベドリルネジ」でフレームをスリーブに固定してください。
- ⑥デザイン格子にデザイン格子カバーをはめ込んでください。

ポイント

- 複数のデザイン格子をデッキ上施工する場合は、フレームカバーを取付けながら行なってください。(図6-2参照)
- フレームカバーの加工は実測よりも1mm~2mm長く加工するとすき間なく施工ができます。

7. フレームカバーの取付け

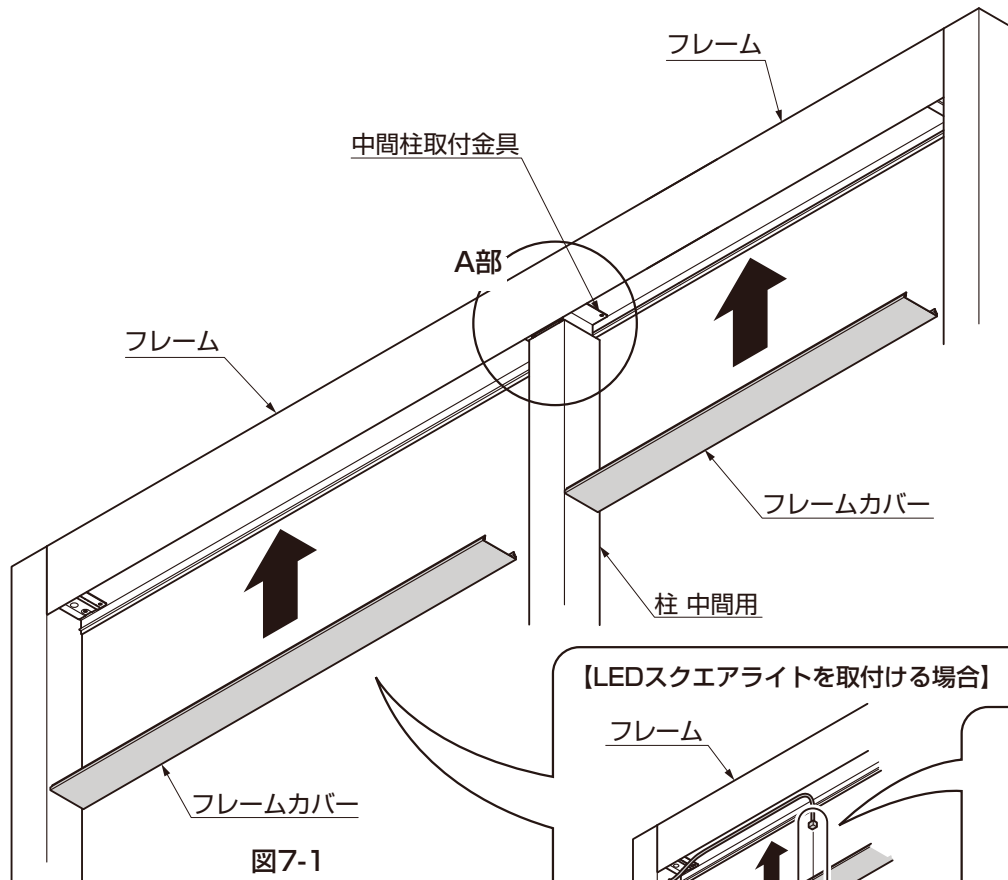


図7-1

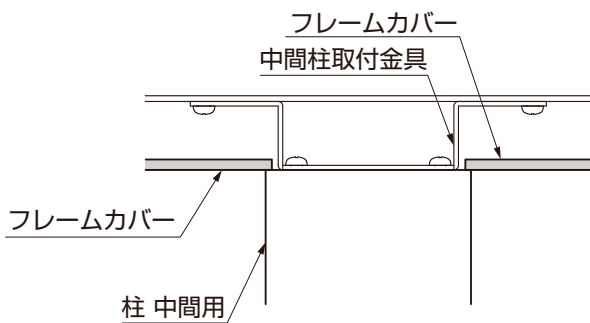
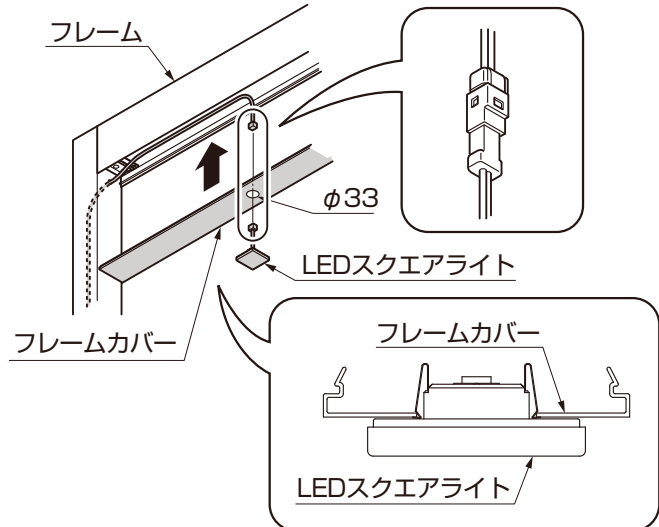


図7-2 A部詳細図

【LEDスクエアライトを取付ける場合】



- ①LEDスクエアライトをフレームカバーにはめてください。
- ②柱に仮止めしていた配線をはい回し、LEDスクエアライトと接続してください。
- ③フレームカバーをフレームにはめ込んでください。

- ①フレーム取付ネジの本締めを行なってください。

補足

- Gルーフ、デザイン格子デッキ上施工が完了していることを確認してください。

- ②フレームにフレームカバーをはめ込んでください。
連結する場合は柱 中間用に干渉しないように実測して加工してください。

ポイント

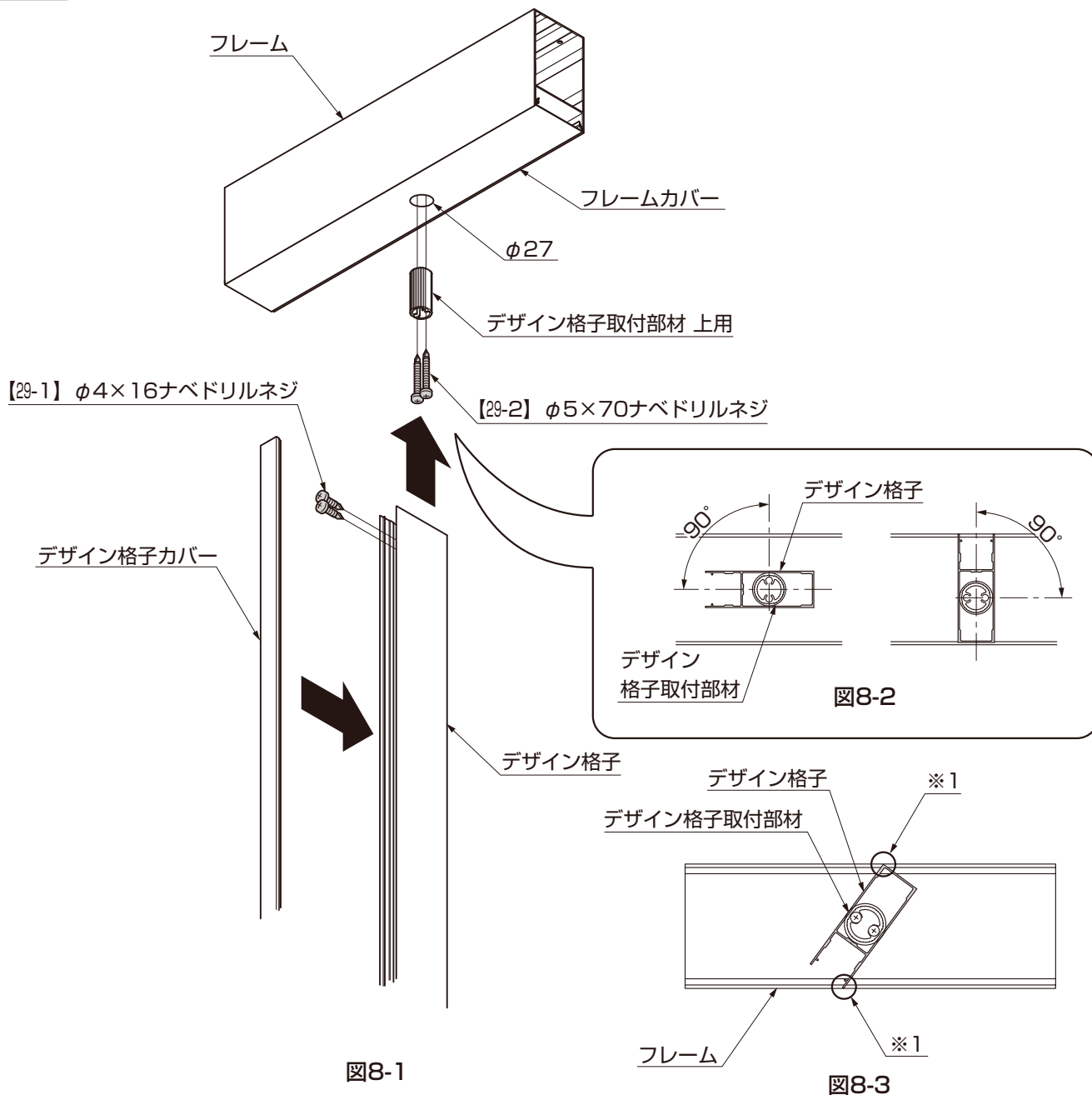
- フレームカバーの加工は実測値よりも1mm~2mm長く加工すると、すき間なく施工できます。
- デザイン格子をデッキ施工する場合、フレームカバーの取付けはデザイン格子と同時に施工してください。

8. デザイン格子埋込み施工の取付け

※埋込み施工補助部材を使用する場合は

「9.デザイン格子埋込み施工補助部材の取付け」と同時に行なってください。

8-1 デザイン格子埋込み施工



①フレームカバーにφ27の穴をあけてデザイン格子取付部材をフレームに【29-2】で取付けてください。

ポイント

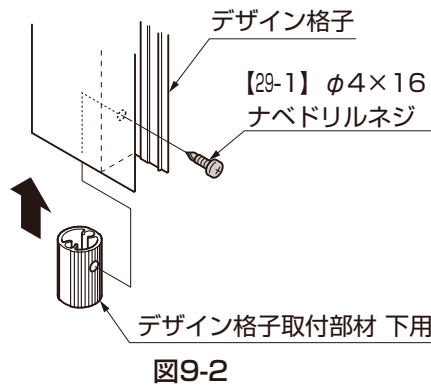
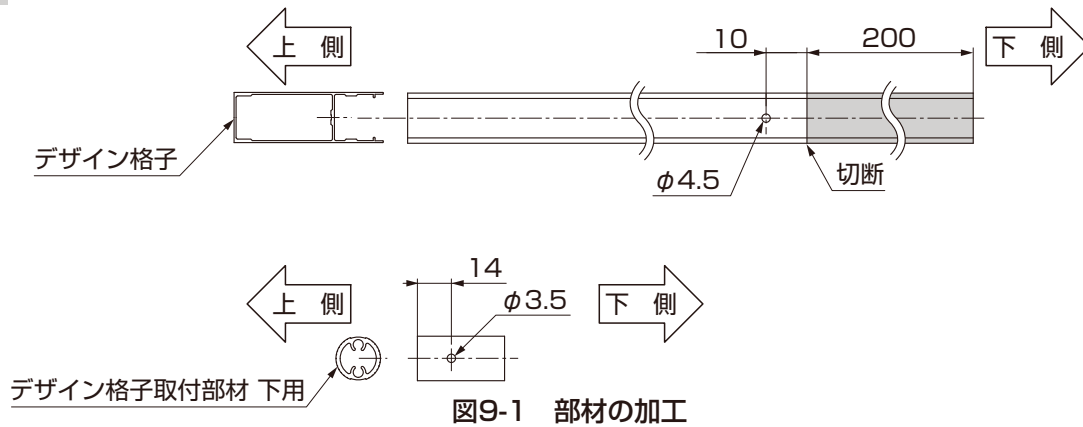
- デザイン格子取付部材はデザイン格子の取付け角度に対して90°に取付けてください。(図8-2参照)
- デザイン格子は回転させて取付ける事が可能ですが、※1の箇所がフレームから飛び出さないように取付けてください。(図8-3参照)

②デザイン格子取付部材にデザイン格子を【29-1】で取付けてください。

③デザイン格子にデザイン格子カバーをはめ込んでください。

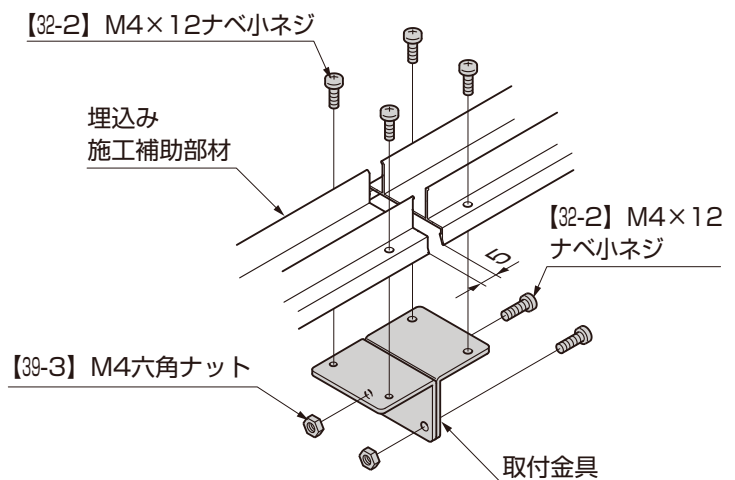
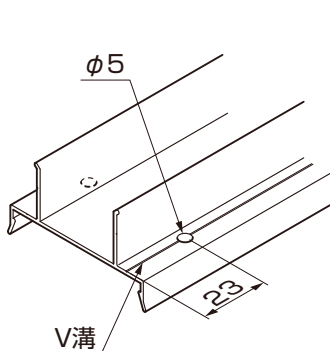
9. デザイン格子埋込み施工補助部材の取付け

9-1 デザイン格子の加工



- ①デザイン格子、デザイン格子取付部材 下用を切断、穴加工してください。(図9-1参照)
- ②デザイン格子にデザイン格子取付部材 下用を【29-1】で取付けてください。(図9-2参照)

9-2 埋込み施工補助部材の加工 ※デザイン格子埋込み施工補助部材を連結する場合の作業です。



- ①埋込み施工補助部材を連結させる場合は、埋込み施工補助部材に穴加工をして取付金具を【32-2】、【32-3】で取付けてください。(図9-3、図9-4参照)

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

9. (つづき)

9-3 埋込み施工補助部材取付け施工

※現場の状況に合わせてデザイン格子先付けまたは後付けの施工方法を選択してください。

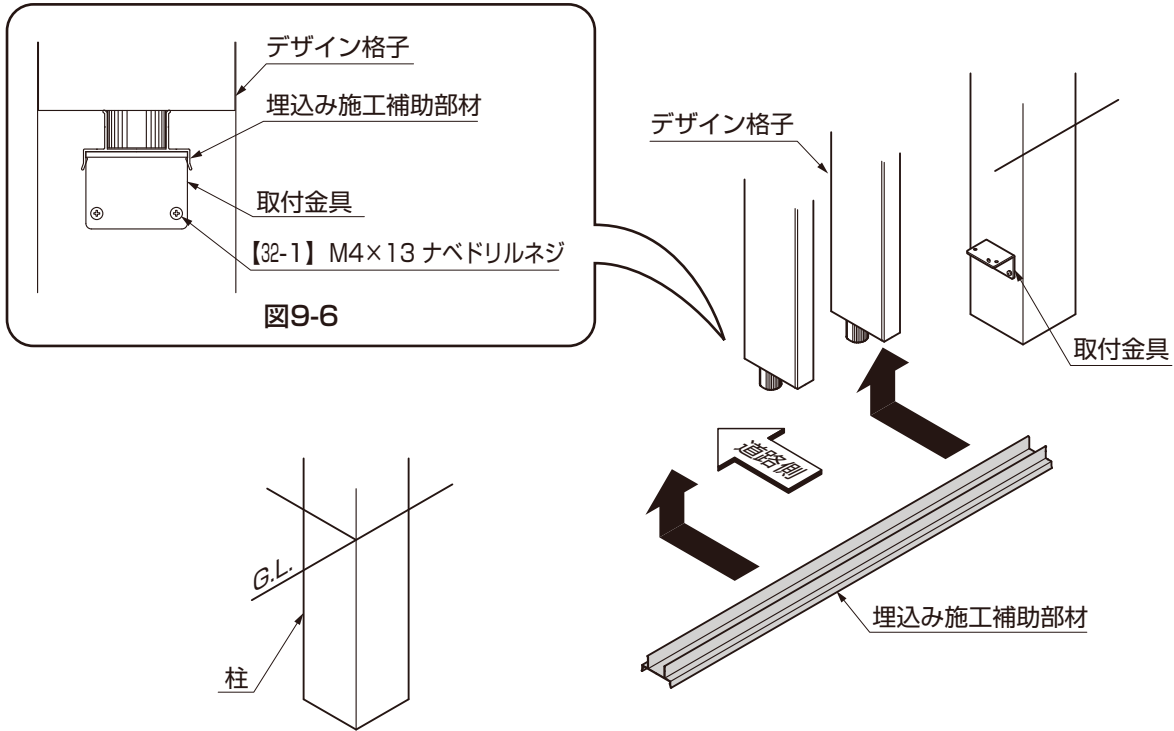


図9-5 デザイン格子先付けの場合

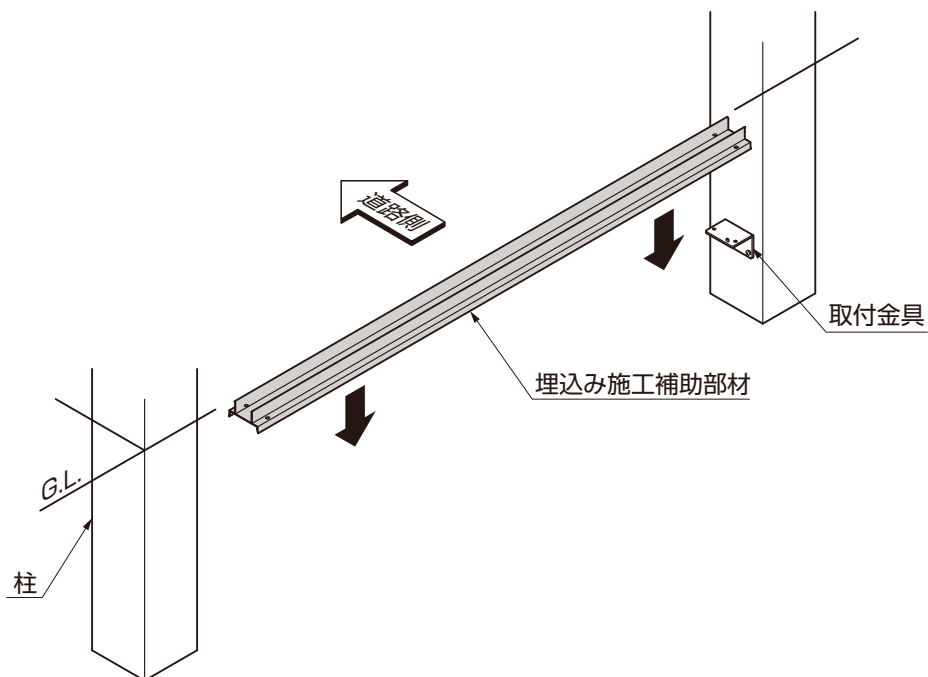


図9-7 デザイン格子後付けの場合

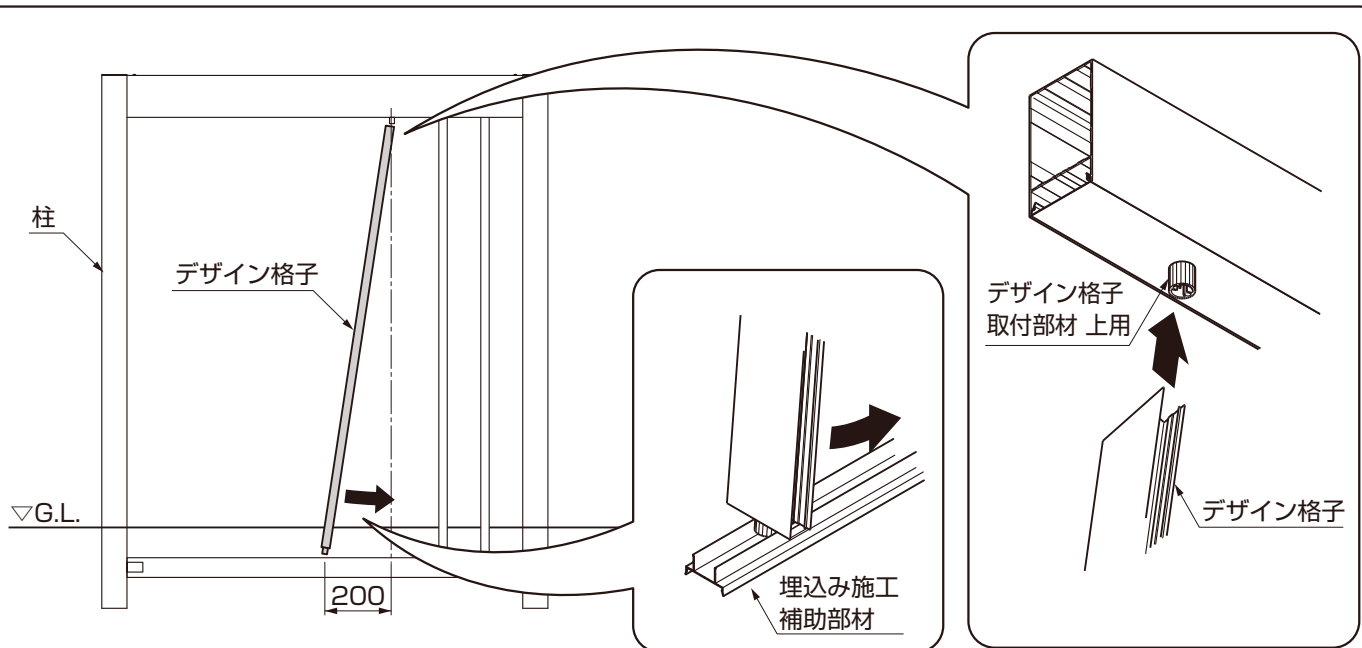


図9-8

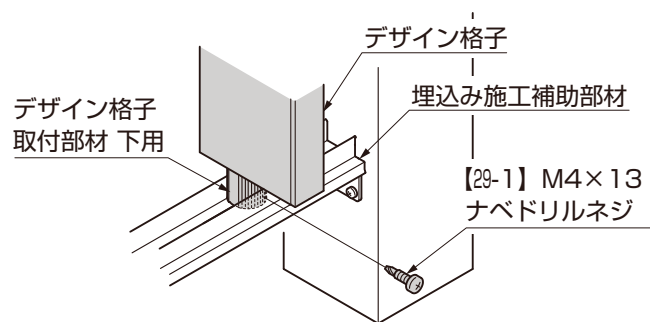


図9-9 デザイン格子の場合

1. デザイン格子先付けの場合

※「1-4 取付金具の取付け」を行なっていることを確認してください。

※デザイン格子の取付けは「8. デザイン格子埋込み施工の取付け」を参照してください。

- ①デザイン格子をフレームに取付いている、デザイン格子取付け部材 上用に取付けてください。
- ②埋込み施工補助部材を取付金具にはめ込んでください。(図9-5参照)
- ③デザイン格子取付け部材 下用を埋込み施工補助部材に【29-1】で取付けてください。(図9-9参照)

2. デザイン格子後付けの場合

※「1-4 取付金具の取付け」を行なっていることを確認してください。

※デザイン格子の取付けは「8. デザイン格子埋込み施工の取付け」を参照してください。

- ①埋込み施工補助部材を取付金具にはめ込んでください。(図9-5参照)
- ②デザイン格子取付け部材 上用の取付け後、図9-8を参考にデザイン格子をデザイン格子取付け部材 上用、埋込み施工補助部材に入るよう斜めにして取付けてください。この際に作業幅が200mm程度必要となります。
- ③デザイン格子取付け部材 下用を埋込み施工補助部材に【29-1】で取付けてください。(図9-9参照)

ポイント

- デザイン格子とフレームカバーにすき間がないことを確認してください。

10. 柱キャップの取付け

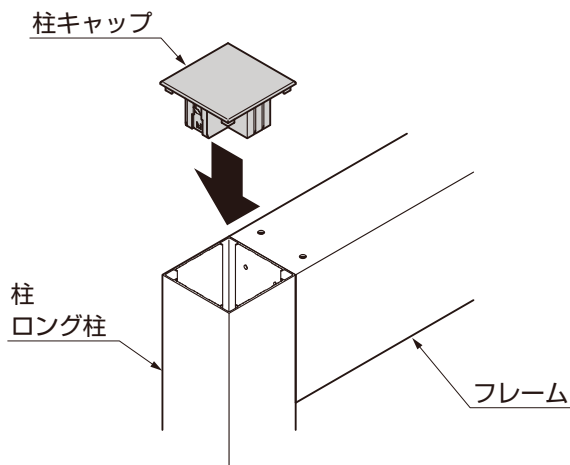


図10-1 柱・ロング柱の場合

①柱に柱キャップをはめ込んでください。

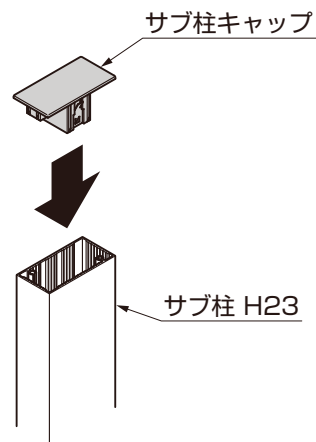


図10-2 サブ柱 H23の場合

11. 調整金具の取付け

11-1 調整金具H取付けの場合

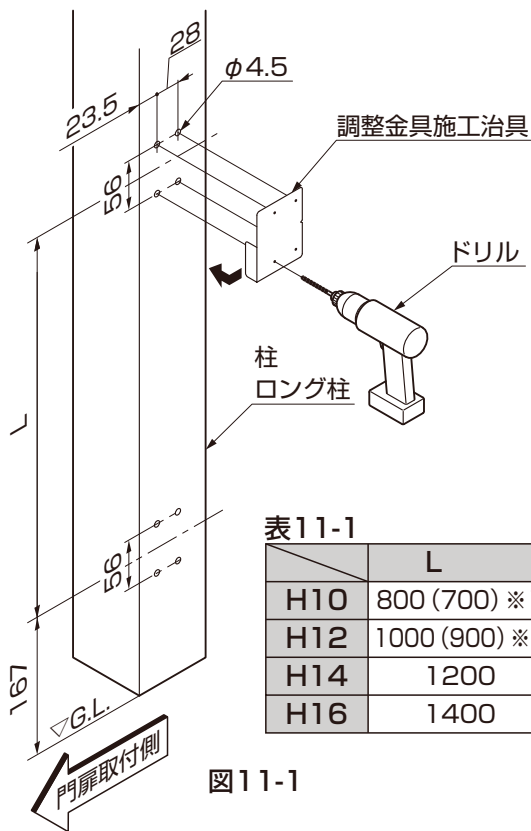


表11-1

	L
H10	800 (700) ※1
H12	1000 (900) ※1
H14	1200
H16	1400

図11-1

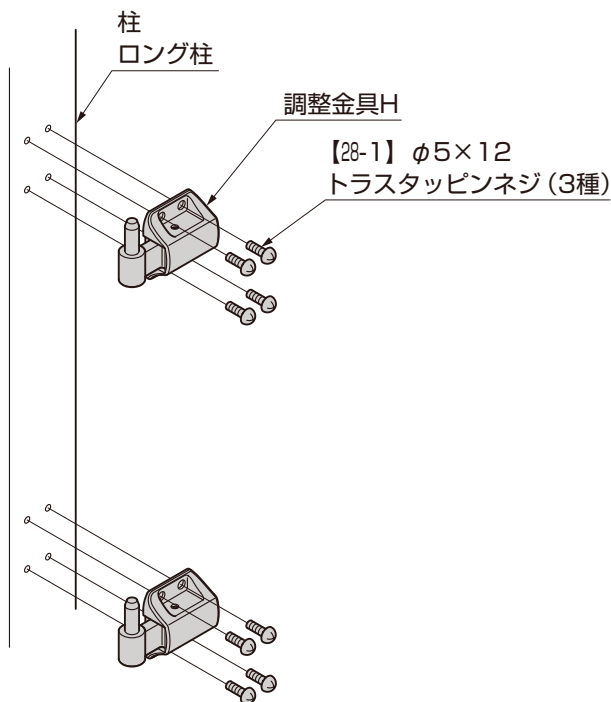


図11-2

- ①柱に調整施工治具をあてケガキ、ドリルで穴加工してください。(図11-1参照)
- ②柱に調整金具Hを、【28-1】で取付けてください。(図11-2参照)

ポイント

- () 内寸法(※1)はラフィーネ門扉1型・4型の場合です。

11-2 調整金具O取付けの場合

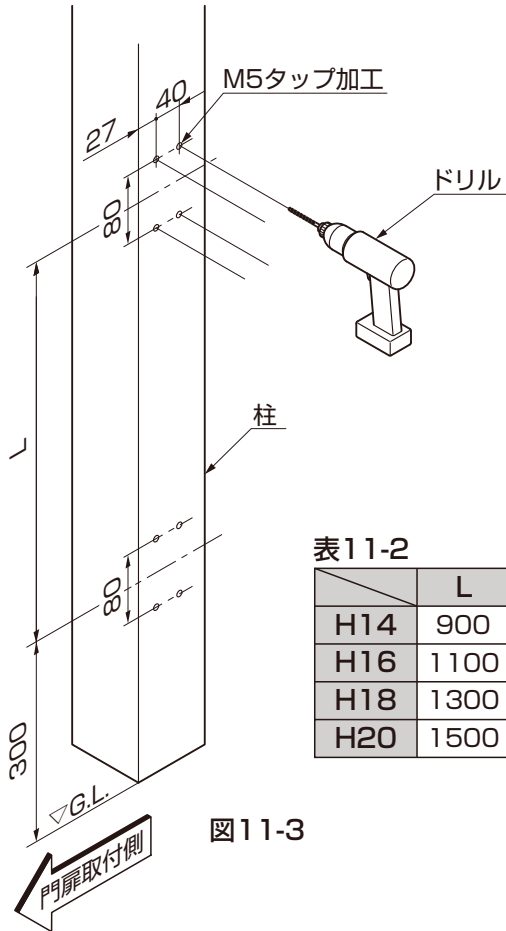


表11-2

	L
H14	900
H16	1100
H18	1300
H20	1500

図11-3

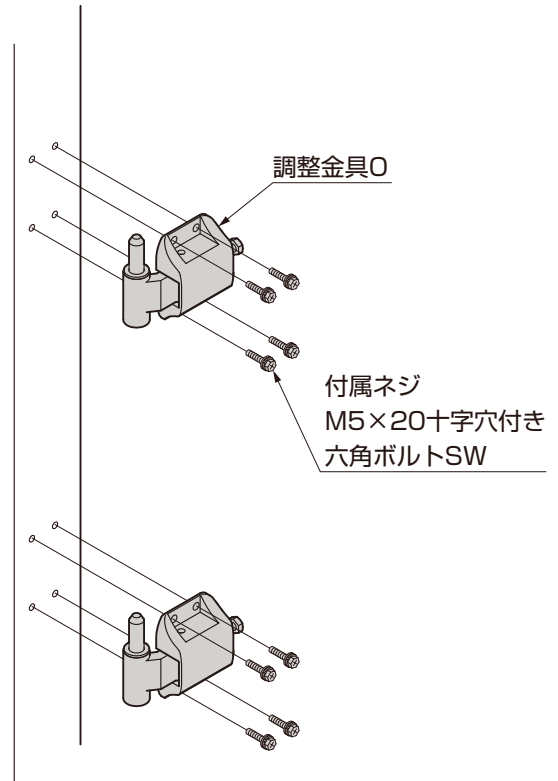


図11-4

- ①調整金具の取付け位置にφ4.5の下穴をあけて、M5タップ加工をしてください。(図11-3参照)
- ②調整金具Oを付属ネジ「M5×20十字穴付き六角ボルトSW」で取付けてください。(図11-4参照)

12. フレーム端部キャップの取付け ※フレーム持出し施工の場合の作業です。

- 【23-1】 φ5×16ナベタッピンネジ3種
- 【22-1】 φ5×16ナベタッピンネジ3種
- 【21-1】 φ5×16ナベタッピンネジ3種

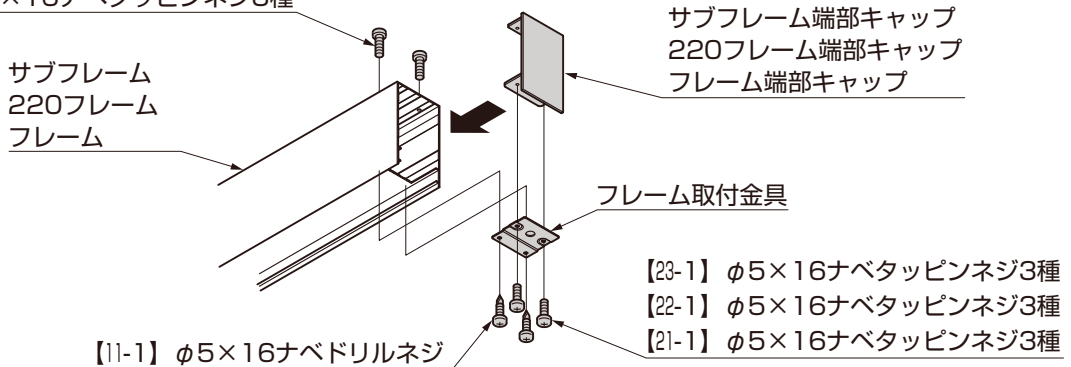


図12-1 端部キャップを取付ける場合

- ①図12-1を参照して端部キャップをフレームに固定してください。

13. 柱の水抜き加工

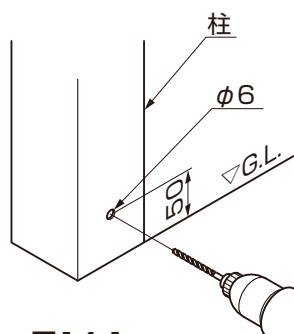


図14-1

①柱へφ6の水抜き穴をあけてください。(図14-1参照)

14. フレーム、パーゴラフレームのシーリング処理

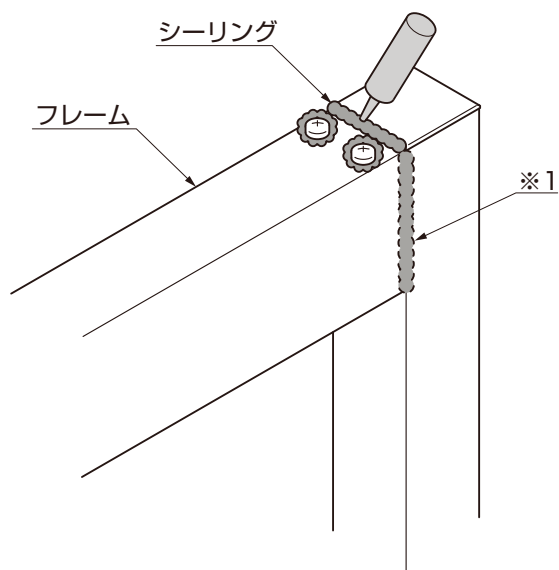


図14-1 柱、フレーム取付けの場合

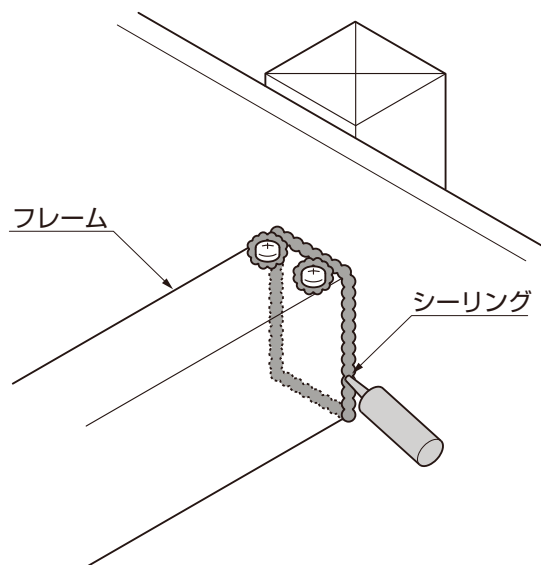


図14-2 躯体取付けの場合

①フレームおよびパーゴラフレームにシーリング処理をしてください。

補足

- 躯体取付けの場合には、全周シーリングを行なってください。
- Gルーフ フリータイプ取付けの場合には※1の部分もシーリング処理してください。

取説コード

E248

JZZ614794M
200705A_1039
201607L_1039